Husqvarna

取扱説明書

HUSQVARNA AUTOMOWER® 435X AWD

JA, 日本語

本製品をご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、内容をしっかりと把握してください。

目次

1 安全性

1.1 安全性の定義....3
1.2 一般的な安全注意事項....3
1.3 設置の安全注意事項....4
1.4 操作のための安全注意事項....4
1.5 メンテナンスのための安全注意事項....4
1.6 バッテリーの安全....4
1.7 本製品の持ち上げと移動....5

2 はじめに

2.1 サポート....6
2.2 製品の説明....6
2.3 Automower® Access....6
2.4 Automower® Connect....6
2.5 Automower® Intelligent Mapping (AIM)....6
2.6 製品の概要 -....7
2.7 製品に表記されるシンボルマーク....8
2.8 バッテリーのマーク....8
2.9 取扱説明書全般....9
2.10 Automower® Access....9

3 Installation（設置）

3.1 はじめに - 設置....12
3.2 設置用の主要部品....12
3.3 設置準備....12
3.4 ワイヤーを設置する前に....12
3.5 本製品の設置....17
3.6 ペグを使ってワイヤーを所定の位置に固定する方法....19
3.7 境界ワイヤーまたはガイドワイヤーを埋め込む方法....19
3.8 境界ワイヤーまたはガイドワイヤーを延長する方法....19
3.9 本製品設置後の点検....20
3.10 Automower® Connect....20
3.11 Automower® Intelligent Mapping (AIM)....21
3.12 本製品を初めて始動する方法....21

4 設定

4.1 スケジュール....23
4.2 刈高....23
4.3 操作....23
4.4 Installation（設置）....24
4.5 アクセサリー....25
4.6 全般（Bluetooth® のみ）....25
4.7 セキュリティ....26
4.8 Automower® Connect（Bluetooth® のみ）....26
4.9 メッセージ....26
4.10 芝刈りプロファイル....26

5 Operation（操作）

5.1 本製品をオンにする....27
5.2 操作モード....27
5.3 本製品の停止方法....28
5.4 本製品をオフにする....28
5.5 バッテリーの充電....28
5.6 Automower® Access で刈高を調整する方法....28

6 メンテナンス

6.1 はじめに - メンテナンス....29
6.2 メンテナンスのスケジュール....29
6.3 製品の清掃....30
6.4 ブレードの交換....31
6.5 トップカバーを交換する方法....32
6.6 バッテリー....34
6.7 冬期の保守....35

7 トラブルシューティング

7.1 はじめに - トラブルシューティング....36
7.2 Automower® Access ディスプレイのエラーシンボル....36
7.3 故障メッセージ....37
7.4 情報メッセージ....44
7.5 チャージステーションの LED インジケータ....44
7.6 症状....45
7.7 ループワイヤーの損傷を発見....47

8 搬送、保管、廃棄

8.1 搬送....50
8.2 保管....50
8.3 廃棄....50

9 主要諸元

9.1 主要諸元....52
9.2 登録商標....54

10 日本市場に適用可能

10.1 コンプライアンス要件....55

1 安全性

1.1 安全性の定義

警告、注意、注記は、取扱説明書の特に重要な部分を示しています。

警告： 取扱説明書の指示に従わない場合、使用者が負傷したり、死亡したりするか、あるいは付近の人に損傷を与える危険があることを意味します。

注意： 取扱説明書の指示に従わない場合、製品や他の物品、または隣接するエリアに損傷を与える危険があることを意味します。

注記： 特定の状況で必要とされる詳細情報を提供するために使用されます。

1.2 一般的な安全注意事項

警告： 本製品を使用する前に、以下の警告指示をお読みください。

- 本取扱説明書をよくお読みになり、内容をしっかりと把握したうえで、本製品を使用してください。後で参照できるように保管しておいてください。
- 本機は、身体能力、感覚能力、または精神能力（本製品の安全な取り扱いに影響する可能性がある）が低下した人や子供、または経験や知識のない人による使用を想定していません。ただし、使用者の安全に責任を負う人が本機の使用に関して監督や指導をする場合を除きます。ただし、EU 要件により、本機は 8 才以上の小児、または身体的、知覚的、精神的障害のある方、および経験や知識の浅い方でも、保護者または責任者の監視の下、または本装置の安全な使用に関する説明を受け、起こりうる危険について理解した上で使用することができます。本装置を小児の遊具にしないでください。クリーニングおよびメンテナンスは、保護者による監視のない限り、小児に行わせてはいけません。
- 本製品には、Husqvarna から推奨される装置のみを使用することができます。それ以外の使用は適切ではありません。
- 人（特にお子様）や動物が作業エリアにいるときには、本製品を決して使用しないでください。
- 本製品が公共の場所で動作する場合は、作業エリアに警告標識を設置する必要があります。標識には次のテキストを含める必要があります。警告! ロボット芝刈機！機械に近づかないでください！お子様を近づけないでください！
- 完全に停止するまでブレードディスクなどの稼働する危険な部品には触らないでください。
- 詰まりを解消する前、メンテナンスまたは検査を行う前や、製品が異常に振動し始めた場合は、本製品をオフにしてください。本製品を再起動する前に、損傷がないことを点検してください。損傷している場合は、本製品を使用しないでください。
- 負傷や事故が発生した場合は、医師にご相談ください。
- 電源ケーブルと延長ケーブルを作業エリアに置かないでください。ケーブルが損傷するおそれがあります。
- 損傷したケーブルやプラグを接続したり、電源から切断する前に損傷したケーブルに触れたりしないでください。動作中にケーブルが損傷した場合は、電源コンセントからプラグを外します。消耗または損傷したケーブルを使用すると、感電のリスクが高くなります。損傷したケーブルはサービス担当者が交換する必要があります。
- 電源をコンセントに接続する場合は、トリップ電流が最大 30mA の漏電遮断器（RCD）を使用してください。
- 本製品は付属のチャージステーションでのみ充電してください。バッテリーを安全に廃棄する方法については、 を参照してください *廃棄 50* ページ。誤った使用は、感電、過熱またはバッテリーから腐食液が漏れ出る原因になる可能性があります。電解液が漏れた場合は、水／中和剤で洗い流します。腐食性の液体が目に入った場合は、医師にご相談ください。
- Husqvarna が推奨する純正バッテリーのみを使用してください。純正バッテリー以外を使用した場合、製品の安全は保証されません。充電式ではないバッテリーは使用しないでください。
- 設置手順（作業エリアの指定を含む）に従ってください。参照： *Installation（設置）12* ページ。
- 本製品の始動と操作に関する手順に従ってください。参照： *Operation（操作）27* ページ。
- 雷雨の危険性がある場合は、Husqvarna では、電気部品の損傷を防ぐためにチャージステーションへの電源とすべての配線の接続を外すことをお勧めします。雷雨の危険がなくなった場合に電源装置とすべての配線を再度接続します。すべての配線が正しく接続されていることが重要です。
- 保守手順に従い、必要に応じて Husqvarna 純正スペアパーツを使用してください。参照： *メンテナンス 29* ページ。
- 質量、寸法、騒音排出の値などの主要諸元については、 *主要諸元 52* ページを参照してください。
- 作業者は、他の人またはその所有物に発生した事故または危険の責任を負います。
- 本製品の操作、メンテナンス、および修理は、必ずその特性と安全基準に完全に精通している担当者のみが行ってください。
- 本製品の設計に変更を加えてはいけません。

- 電気的安全性に関する各国の規制に従ってください。
- Husqvarna は、リモコンや無線送信機などの他の無線システムと本製品の間の互換性を完全には保証していません。
- 内蔵アラームが大音量で鳴ります。本製品を室内から操作する場合は、特に注意が必要です。
- 動作温度および保管温度範囲は 0-50 °C / 32-122 °F です。充電時の温度範囲は 5-45 °C / 41-113 °F です。温度が高すぎると、本製品が損傷する可能性があります。

1.3 設置の安全注意事項

警告： 本製品を使用する前に、以下の警告指示をお読みください。

- チャージステーションおよびアクセサリーは、可燃物から 60 cm（24 インチ）以内の場所には設置しないでください。不具合が生じた場合は、チャージステーションや電源装置が過熱して火災が発生する可能性があります。
- 電源装置は、水に浸る危険性のある高さに置かないでください。電源装置は、地面に置かないでください。
- 電源装置は、密閉しないでください。結露水が電源装置に悪影響を与え、感電の危険性を高めるおそれがあります。
- 蟻などの害虫がいる場所には、チャージステーションを設置しないでください。
- 米国／カナダに適用。電源が屋外に設置されている場合 : 感電のおそれがあります。必ずアタッチメントプラグキャップを抜き差しできる耐候性のエンクロージャを備えたクラス A GFCI レセプタクル（RCD）に取り付けてください。
- 水が溜まるおそれがある場所に、チャージステーションを設置しないでください。

1.4 操作のための安全注意事項

警告： 本製品を使用する前に、以下の警告指示をお読みください。

- 回転しているブレードに手や足を近づけないでください。電源がオンの場合は、本製品の近くまたは下に手や足を近づけないでください。
- 人、特に子供や、動物などが作業エリアにいるときは、駐車モードを使用するか、本製品をオフにしてください。参照： *本製品をオフにする 28 ページ*。Husqvarna は、作業エリアにアクティビティがない場合に動作するように本製品を設定することをお勧めします。本製品は、夜に作業エリアでハリネズミなどの動物を負傷させる原因となることがあります。 参照： *スケジュール 23 ページ*。
- 芝生に石、枝、工具、おもちゃなどの異物がないことを確認します。ブレードは障害物に当たると損傷する可能性があります。
- 本製品がオンに設定されている場合は、持ち上げたり移動したりしないでください。
- 本製品が人や動物に衝突しないようにしてください。人や動物が本製品の進行方向に存在する場合、直ちに本製品を停止してください。参照： *本製品の停止方法 28 ページ*。
- 本製品やチャージステーション上に物を置かないでください。
- **[STOP]** ボタンが作動しない場合は、本製品を使用しないでください。
- 使用中でないときは、本製品をオフに設定してください。正しい PIN コードを入力した場合にのみ本製品を起動できます。
- ポップアップスプリンクラーと同時に本製品を使用しないでください。*スケジュール*機能を使用して、本製品とポップアップスプリンクラーが同時に動作しないようにしてください。参照： *スケジュール 23 ページ*。
- 作業エリアに水が溜まっている場合は、本製品を動作させないでください。例えば、大雨で水たまりができている場合などです。

1.5 メンテナンスのための安全注意事項

警告： 本製品のメンテナンスを行う前に、以下の警告指示を読んでください。

- 製品のメンテナンスを行う場合に **OFF** に設定します。
- 本製品の清掃には高圧水を使用しないでください。本製品の清掃には溶剤を使用しないでください。
- チャージステーションの清掃またはメンテナンスを行う前に、チャージステーションのプラグを抜いてください。

1.6 バッテリーの安全

警告： 本製品を使用する前に、以下の警告指示をお読みください。

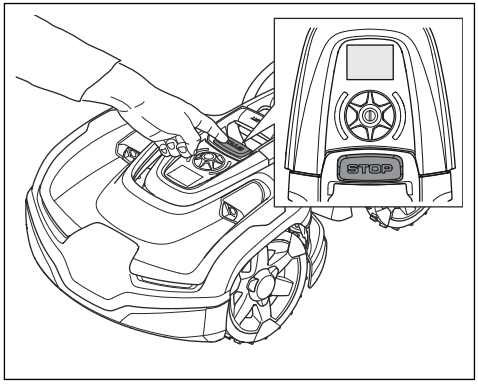
- リチウムイオンバッテリーは、分解したり、短絡したり、水、火、または高温にさらされると、爆発したり火災を起こす原因となります。慎重に取り扱ってください。バッテリーを分解したり、開けたり、電気的/機械的な不正使用をしないでください。直射日光にさらされるような環境に保管しないでください。

1.7 本製品の持ち上げと移動

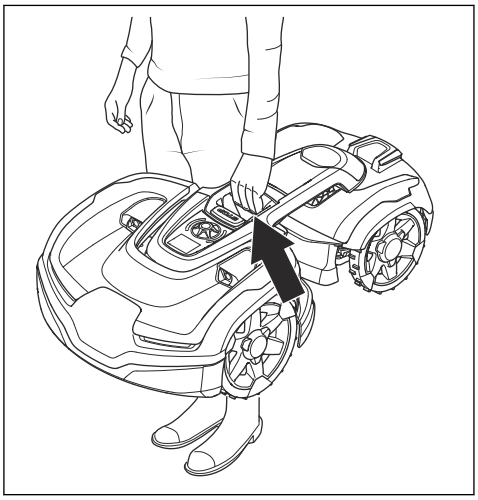
警告： 本製品を持ち上げる前に、オフに設定する必要があります。LED ステータスインジケータの消灯時、本製品はオフになっています。

注意： チャージステーションに駐車しているときは、本製品を持ち上げないでください。チャージステーションや本製品を損傷するおそれがあります。**STOP** ボタンを押し、本製品をチャージステーションから引き出してから、本製品を持ち上げてください。

1. **STOP** ボタンを押して、本製品を停止します。



2. 必要に応じて PIN コードを入力します。
3. **ジョグホイール**を 3 秒間押し続け、本製品のスイッチをオフにします。
4. LED ステータスインジケータが消灯することを確認します。
5. ハンドルを持って本製品を持ち上げます。



2 はじめに

工場出荷時の PIN コード：1234
製造番号：
製品番号：

製造番号および製品番号は本製品の銘板と梱包箱に記載されています。

- www.husqvarna.com で製品を登録してください。製品の製造番号、製品番号、購入日を入力して、製品を登録します。

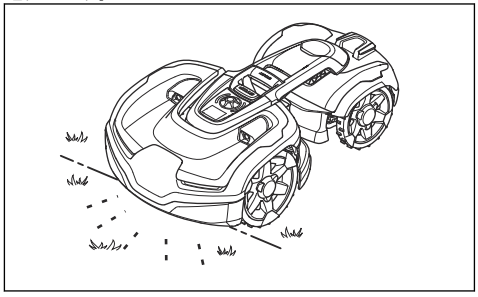
2.1 サポート

本製品のサポートについては、Husqvarna 販売店にお問い合わせください。

2.2 製品の説明

注記： Husqvarna は、製品の外観や機能を定期的に改良しています。参照： *サポート 6 ページ*。

本製品は、ロボット芝刈機です。本製品にはバッテリー電源が搭載されており、芝を自動的に刈り込みます。芝刈りと充電を常に交互に繰り返します。無作為の動作パターンにより、芝を均等に刈るとともに、摩耗を少なくします。境界ワイヤーとガイドワイヤーで、作業エリア内における製品の動きを制御します。本製品が境界ワイヤーに近づくと、センサーがワイヤーを感知します。本製品の前部は、旋回する前に必ず特定の距離だけ境界ワイヤーを通過します。本製品が障害物に衝突したり、境界ワイヤーに接近したりすると、本製品は新しい方向を選択します。



使用者は、本製品の Automower® Access で動作設定を選択します。ディスプレイには、選択した動作設定、可能な動作設定、および本製品の動作モードが表示されます。

2.2.1 芝刈り方法

頻繁に芝刈りを行うことで、芝の質を改善し、肥料の使用を減らすことができます。芝を集草する必要はありません。

2.2.2 チャージステーションの探索

本製品は、バッテリー残量が少なくなるまで動作したあと、チャージステーションへの移動を開始します。本製品がチャージステーションを見つけるには、以下の 3 つの検索方法があります。*チャージステーションの探索 24 ページ*を参照してください。

2.3 Automower® Access

本製品のユーザーインターフェイスを Automower® Access と呼びます。ディスプレイ、**ジョグホイール**、LED ステータスインジケータ、［**START**］ボタン、［**STOP**］ボタンで構成されています。 *Automower® Access 9 ページ*を参照してください。

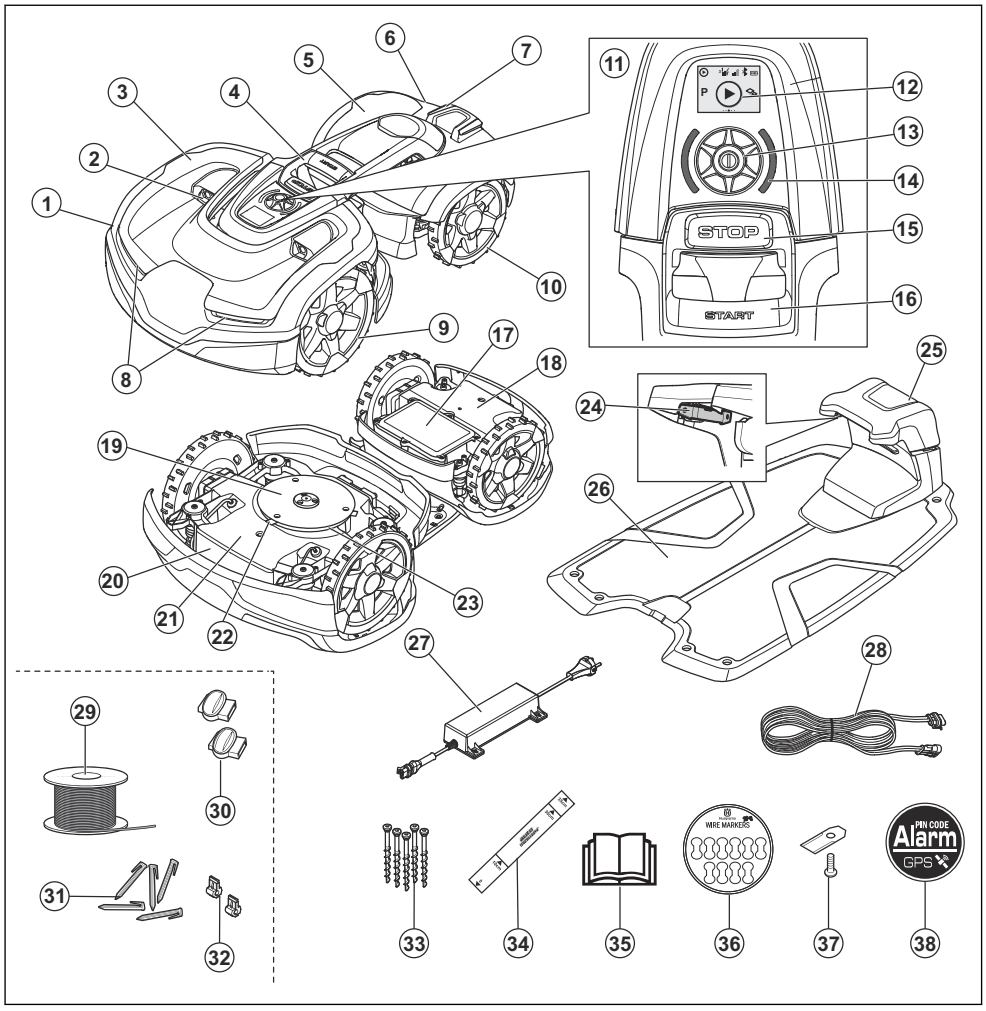
2.4 Automower® Connect

Automower® Connect は、動作設定をリモートで選択できるモバイルアプリケーションです。 *Automower® Connect 20 ページ*を参照してください。

2.5 Automower® Intelligent Mapping (AIM)

Automower® Intelligent Mapping (AIM) は Automower® Connect アプリで使用できます。Automower® Intelligent Mapping (AIM) を使用して、芝生と設置の仮想マップを作成します。マップでは、仮想作業エリアと立ち入り禁止ゾーンを作成できます。 *Automower® Intelligent Mapping (AIM) 21 ページ*を参照してください。

2.6 製品の概要 -



1. フロント本体
2. 超音波センサー
3. フロントトップカバー
4. リフトハンドル
5. リヤ本体
6. リヤトップカバー
7. チャージプレート
8. ヘッドライト
9. フロントホイール
10. リヤホイール
11. Automower® Access
12. ディスプレイ
13. ジョグホイール
14. LED ステータスインジケータ
15. ［STOP］ボタン
16. ［START］ボタン
17. バッテリーカバー
18. 電子部品、モーター、バッテリーを備えたリヤシャーシボックス
19. スキッドプレート
20. シリアルプレート（製品識別コードを含む）

21. 電子部品とモーターを備えたフロントシャーシボックス
22. ブレード
23. ブレードディスク
24. 接触板
25. チャージステーション、境界ワイヤーの動作確認用 LED
26. チャージステーション
27. 電源 [1]
28. 低電圧ケーブル
29. 境界ループのループワイヤーとガイドワイヤー [2]
30. ループワイヤーのカプラー [3]
31. ペグ [4]
32. ループワイヤーのコネクター [5]
33. チャージステーション固定用ネジ
34. 境界ワイヤー設置時に役立つ測定ゲージ（測定ゲージはボックスから飛び出ています）
35. 取扱説明書およびクイックガイド
36. ケーブルマーカー
37. 予備のブレード
38. 警報デカール

2.7 製品に表記されるシンボルマーク

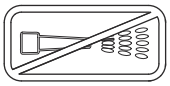
これらのシンボルマークは本製品上に表示されています。 しっかりと確認してください。

警告：本製品を使用する前に説明書をお読みください。

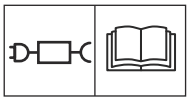
警告：本製品を操作したり、持ち上げたりする前に、本製品をオフにしてください。

警告：操作時は、本製品から安全な距離を保ってください。回転しているブレードに手や足を近づけないでください。

警告：本製品の上に乗らないでください。手や足を本製品に近づけたり、本製品の下に入れたりしないでください。



本製品は高圧洗浄機や流水で洗浄しないでください。



このシンボルの横にある定格ラベルに記載されている、取り外し可能な電源装置を使用してください。

本製品は EU 指令適合製品です。

本製品は UK 指令適合製品です。

本製品は、通常の家庭ゴミとして処分することはできません。地域の法的要件に従って製品をリサイクルしてください。

シャーシには、静電放電（ESD）に弱い部品が含まれています。シャーシは、専門的な方法で再度密閉する必要があります。このため、シャーシは、必ず認定サービス技術者が開けるようにしてください。シールが破れていると、製品全体または部品の保証が有効でなくなる可能性があります。

低電圧ケーブルは短くしたり、延長したり、接合したりしないでください。

低電圧ケーブルの近くでトリマーを使用しないでください。 ケーブルの敷設場所で際刈りをする場合は、十分に注意してください。

2.8 バッテリーのマーク

警告：リチウムイオンバッテリーは、分解したり、短絡したり、手荒に扱ったりすると、爆発したり火災を起こす原因となります。水、火、高温にさらさないでください。

[1] 外観は市場によって異なる場合があります。
[2] 別売りの設置キットの一部です。
[3] 注 2 を参照
[4] 注 2 を参照
[5] 注 2 を参照

取扱説明書をお読みください。

バッテリーを火の中に廃棄したり、熱源にさらしたりしないでください。

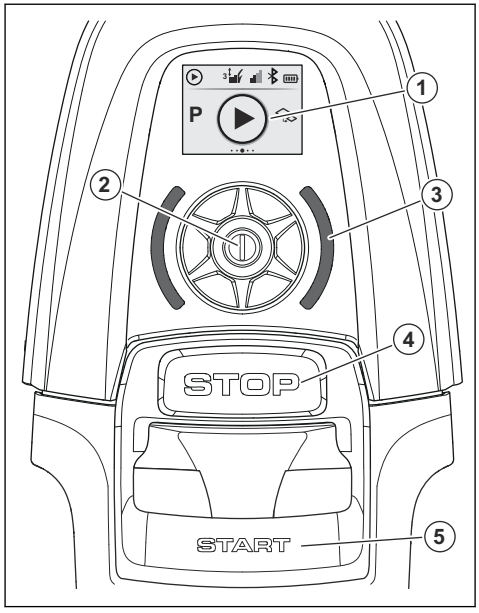
バッテリーは水の中に入れないでください。

2.9 取扱説明書全般

本取扱説明書では、読みやすいように次の表記規則を使用しています。

- *斜体*で記載されたテキストは、ディスプレイに表示されるテキストであるか、取扱説明書の別のセクションを参照していることを示しています。
- **太字**のテキストは、本製品のボタンを示します。

2.10 Automower® Access



1. ディスプレイには、ステータスバーとメインメニューのアイコンが表示されます。*ディスプレイ上のアイコン 9* ページを参照してください。
2. **ジョグホイール**を使用してメニュー構造を移動し、メニューオプションを選択します。
3. LED ステータスインジケータは、製品のステータスを示します。*LED ステータスインジケータ 11* ページを参照してください。
4. **［STOP］**ボタン
5. **［START］**ボタン

2.10.1 ディスプレイ上のアイコン

本製品は作動しています。

本製品は駐車しています。

本製品は一時停止しました。

エラーが発生しました。

本製品の刈高。

携帯電話の信号の強さ。

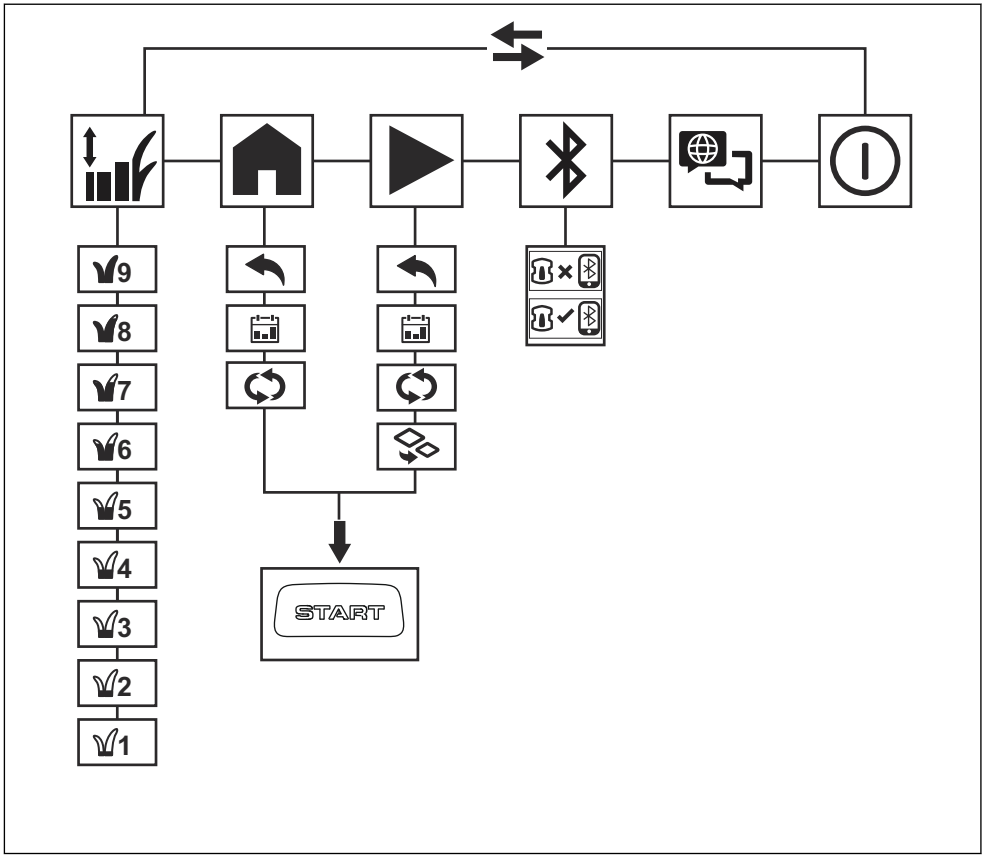
Wi-Fi 信号の強さ。

Bluetooth® 接続が有効になっています。

バッテリーは充電中です。

バッテリーレベル。

2.10.2 Automower® Access のメニューツリーの概要



2.10.2.1 Automower® Access のメインメニューの記号

刈高

*［Cutting height（刈高）］*メニューで、刈高を 9 段階に調整できます。

駐車

*［Park（駐車）］*メニューでは、更なる通知まで駐車するように本製品を設定したり、スケジュールを設定したりできます。

芝刈り

*［Mow（芝刈り）］*メニューでは、設定されたスケジュールやセカンダリエリアモードで刈り込みを行うように本製品を設定できます。

接続

*［Connect（接続）］*メニューでは、Bluetooth® を有効にして、モバイルデバイスとのペアリング操作を行うことができます。

言語

*［Language（言語）］*メニューでは、表示する言語を選択できます。

電源オフ

*［Power off（電源オフ）］*で、本製品をオフにします。

2.10.2.2 Automower® Access のサブメニューにある記号

刈高

[Cutting height（刈高）] サブメニューでは、本製品の刈高を設定できます。

戻る

[Back（戻る）] を選択すると、メインメニューに戻ります。

スケジュール

[Schedule（スケジュール）] サブメニューでは、*スケジュール*設定を選択できます。*スケジュール*設定は、Automower® Connect アプリで設定します。

選択した動作モード

このサブメニューでは、選択した動作モードで連続的に動作させる製品を選択できます。新しい動作モードを選択するまで、製品はこのモードで動作し続けます。

セカンダリエリア

[Secondary area（セカンダリエリア）] サブメニューでは、*セカンダリエリア*の動作モードを選択できます。参照：*Secondary area（セカンダリエリア）27 ページ*。

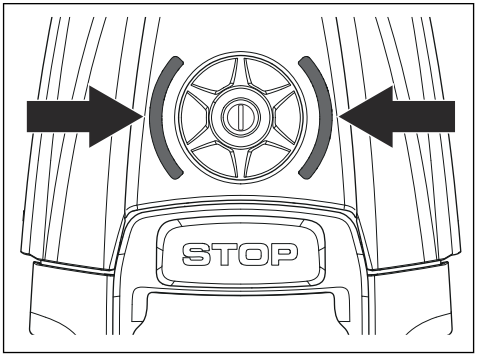
接続済み

本製品とモバイルデバイスは Bluetooth® で接続されています。

接続なし

本製品とモバイルデバイスは Bluetooth® で接続されていません。

2.10.3 LED ステータスインジケータ



LED の表示	ステータス
緑	動作中
青	駐車
赤	エラー
黄	一時停止／停止中
点滅（黄）	PIN コードが必要です
脈動（緑／青）	充電中
点滅（緑／青）	**ジョグホイール**を押して動作を開始します
ゆっくりとした点滅（緑）	動作していません
白	本製品がオフになっています

3 Installation（設置）

3.1 はじめに - 設置

警告： 本製品を設置する前に、安全に関する章を読んで理解してください。

注意： 純正のスペアパーツと設置器具を使用してください。

注記： 設置に関する詳細については、www.husqvarna.com を参照してください。

3.2 設置用の主要部品

設置には次の部品が必要です。

- 芝生を自動的に刈るロボット芝刈機。
- チャージステーションには、次の 3 種類の機能があります。
  - 境界ワイヤーに沿って制御信号を送信します。
  - ガイドワイヤーに沿って制御信号を送信することで、本製品がガイドワイヤーに従って庭の特定の離れた場所まで移動し、そこからチャージステーションまで戻る道のりがわかるようにします。
  - 本製品を充電します。
- チャージステーションおよび 100V～240V コンセントと接続した電源。
- ループワイヤーは、作業エリアや、物体や樹木の周りなど、本製品が避けるべき場所に敷設します。ループワイヤーは、境界ワイヤーとガイドワイヤーの両方に使用されます。

3.3 設置準備

設置を開始する前に、「設置」の章をお読みください。正常に動作するよう、慎重に本製品の設置準備を行ってください。

- 作業エリアの設置図を作成し、それにすべての障害物を含めておきます。これにより、チャージステーション、境界ワイヤー、ガイドワイヤー位置の検討が容易になります。
- チャージステーション、境界ワイヤー、ガイドワイヤーの設置場所を、この設置図に記入します。
- ガイドワイヤーを境界ワイヤーに接続する場所を設置図に記入します。参照： *ガイドワイヤーを取り付ける方法 18 ページ*。
- 芝生の穴を埋めて水平にします。

注意： 芝生内に水が入っている穴があると、本製品が損傷するおそれがあります。

- 本製品を設置する前に、芝を刈り込んでトリミングしてください。このとき、芝は 10 cm / 4 インチ以下にする必要があります。

注記： 設置後の最初の数週間は、本製品が芝を刈るときに聞こえる騒音レベルが通常よりも高くなる可能性があります。しばらくすると、騒音レベルは下がります。

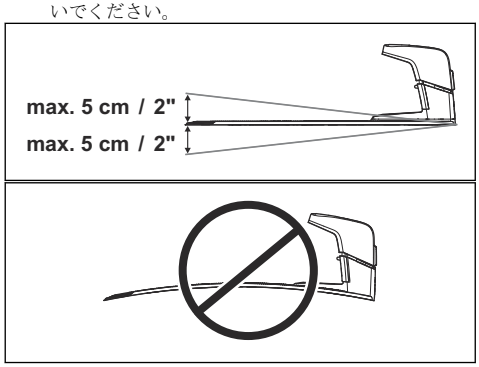
3.4 ワイヤーを設置する前に

ワイヤーの設置には、ペグを使用するか、または地中に埋めるか、どちらかの方法を選択することができます。同じ作業エリア内で、2 種類の方法を使用することもできます。

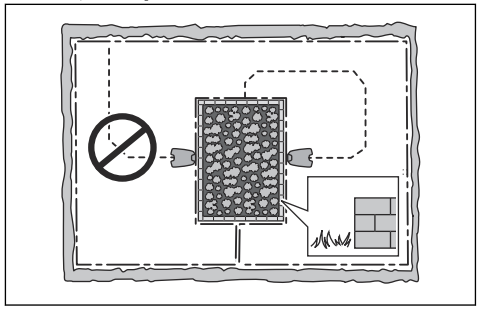
注意： 作業エリアでデサッチャーを使用する場合は、境界ワイヤーとガイドワイヤーの損傷を避けるためにワイヤーを地下に埋設してください。

3.4.1 チャージステーションの設置場所について

- チャージステーションの前には、3 m / 10 フィート以上の空きスペースを確保してください。
- チャージステーションの左右には、1.5 m / 5 フィート以上の空きスペースを確保してください。
- チャージステーションは、電源コンセントの近くに設置してください。
- チャージステーションは、平らな場所に設置してください。
- チャージステーションのベースプレートを曲げないでください。



- チャージステーションは、作業エリア内で最も広く、障害物のない場所に設置してください。
- チャージステーションは、散水システムのない場所に設置してください。
- チャージステーションは、日光から保護されている場所に設置してください。
- チャージステーションをアイランドに設置する場合は、ガイドワイヤーをアイランドに接続してください。*アイランドを作る方法 15 ページ*を参照してください。



3.4.2 電源装置の取り付け場所について

注意： 本製品のブレードが低電圧ケーブルを切断しないようにしてください。

- 電源装置は、屋根があり、日光や雨から保護されている場所に取り付けてください。
- 電源装置は、適切な換気のある場所に設置してください。
- 電源装置を電源コンセントに接続する場合は、トリップ電流が 30 mA 以下の漏電遮断器（RCD）を使用してください。

さまざまな長さの低電圧ケーブルが、アクセサリーとして用意されています。

3.4.3 境界ワイヤーの敷設場所について

注意： 境界ワイヤーと水域、斜面、崖、公道の間に 15 cm / 6 インチ以上の高さの保護壁を設ける必要があります。これは本製品の損傷を防ぐためです。

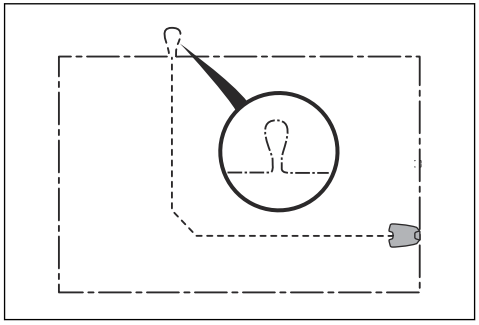
注意： 本製品を砂利の上で使用しないでください。

注意： 境界ワイヤーを敷設する際にワイヤーを鋭角や直角に曲げず、緩やかに曲げてください。

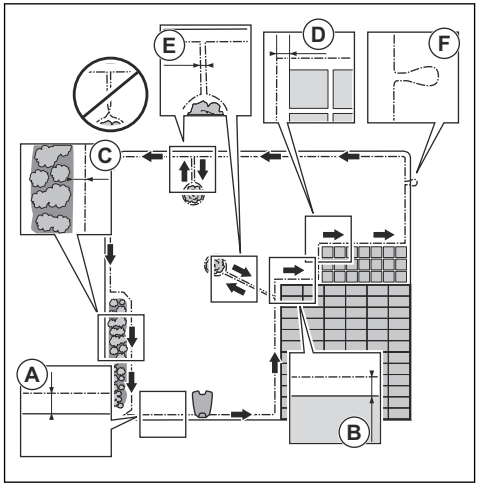
注意： 動作時の異音を防ぐために、樹木、根、石などの障害物をすべて取り除いてください。

境界ワイヤーは作業エリアをひと続きに囲むように敷設する必要があります。本製品が境界ワイヤーに近づいたことを内蔵センサーが感知すると、本製品は別の方向を選択します。作業エリアのすべての部分は、境界ワイヤーから 35 m / 115 フィート以内である必要があります。

ガイドワイヤーと境界ワイヤーの接続を容易にするため、ガイドワイヤーを接続する場所にアイレットを設置することをお勧めします。境界ワイヤーの約 20 cm / 8 インチの部分にアイレットを設置します。

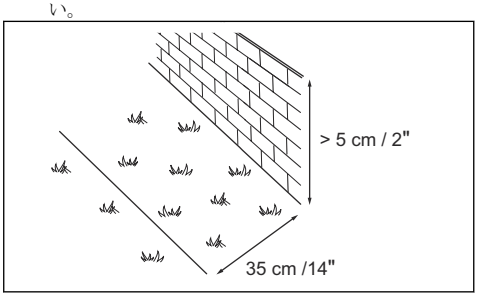


注記： 境界ワイヤーとガイドワイヤーを敷設する前に、作業エリアの設置図を作成してください。

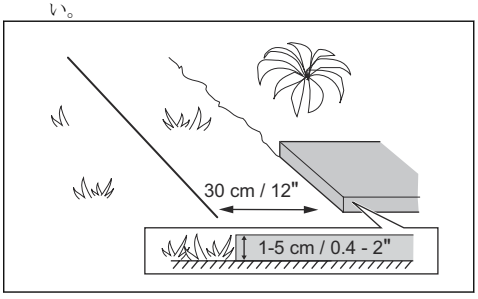


- 境界ワイヤーを作業エリア全体（A）の周囲に敷設します。境界ワイヤーと各障害物との距離を調整します。

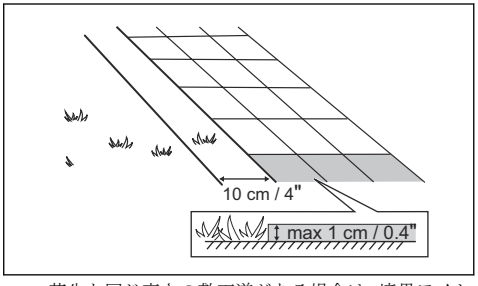
- 高さが 5 cm / 2 インチを超える障害物からは、境界ワイヤーを 35 cm / 14 インチ（B）離してください。



- 高さが 1-5 cm / 0.4-2 インチの障害物からは、境界ワイヤーを 30 cm / 12 インチ（C）離してください。



- 高さが 1 cm / 0.4 インチ未満の障害物からは、境界ワイヤーを 10 cm / 4 インチ（D）離してください。



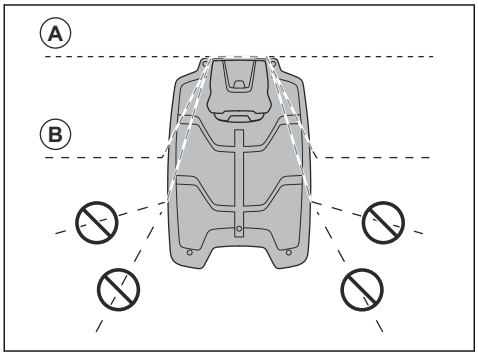
- 芝生と同じ高さの敷石道がある場合は、境界ワイヤーを敷石の下に敷設してください。

注記： 敷石の幅が 30 cm / 12 インチ以上の場合、敷石に隣接する芝をすべて刈るには、*Drive Past Wire（ワイヤーを通過）* 機能を工場出荷時の設定にして使用します。参照： *ワイヤー通過運転 25* ページ。

- アイランドを作る場合は、アイランドへ往復する境界ワイヤー 2 本を隣接して（E）敷設します。この 2 本のワイヤーは、同じペグに入れてください。参照： *アイランドを作る方法 15* ページ。
- ガイドワイヤーを境界ワイヤーに接続する位置に、アイレット（F）を作成します。

3.4.4 境界ワイヤーをチャージステーションの周囲に配置する方法の検討

- Husqvarna では、境界ワイヤーをチャージステーションからまっすぐに配置することをお勧めします（A）。

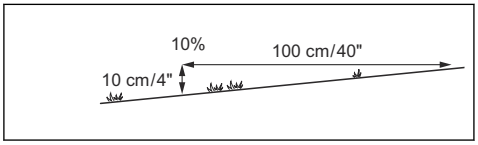


- 必要な場合、境界ワイヤーをチャージステーションの下に斜めに配置できます（B）。

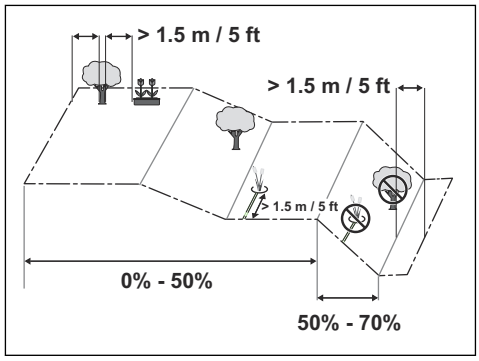
注記： 境界ワイヤーをチャージステーションの下から離れた位置には配置しないでください。本製品は、チャージステーションを見つけて入ることが難しいかどうかを判断できます。

3.4.4.1 境界ワイヤーを斜面に設置する方法

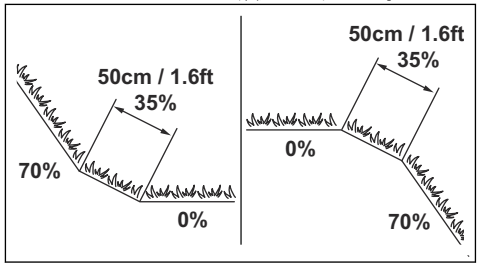
本製品は 70%斜面でも動作します。70% を超える斜面は、境界ワイヤーで隔離する必要があります。勾配（%）は、1 メートルあたりの高さで計算されます。例：10 cm / 100 cm = 10%。



- 本製品は、作業エリアの最大 50% の斜面で通常どおり動作します。境界ワイヤーと障害物の間、または障害物どうしの間の距離を 1.5 に保ってください。
- 50-70% の斜面の場合は、斜面に障害物がないことを確認してください。勾配の底から境界ワイヤーまで、1.5 m/5 フィートの距離が必要です。



- 平坦な地面と急な斜面の間に 50 cm/1.6 フィートのエリアがあることを確認してください。



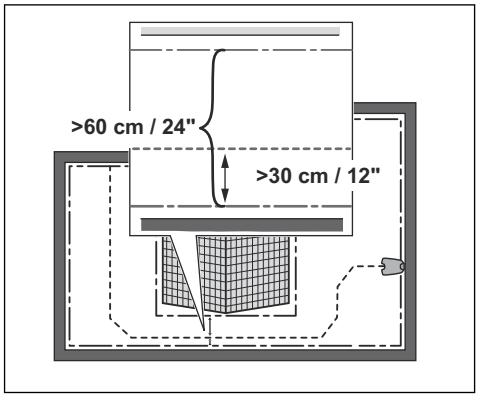
- 公共の道路に隣接する斜面の場合は、斜面の外縁に 15 cm/6 インチ以上の保護壁を設置してください。壁やフェンスを保護壁として使用することができます。

3.4.4.2 経路

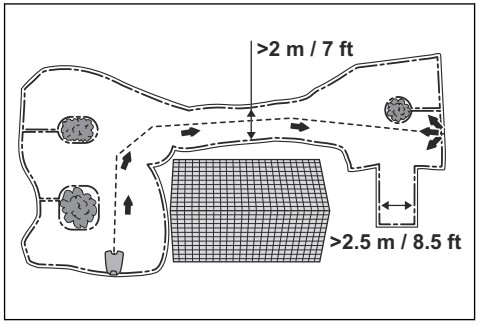
経路とは、2 つの作業エリアを接続する、両側に境界ワイヤーが設けられたセクションです。良好な芝刈り結果を得るには、経路が 2 m / 6.5 フィート幅以上である必要があります。ガイドワイヤーが経路全体に敷設されている場合、短い経路は 60 cm / 2 フィートまで狭めることができます。長く狭い経路は、芝刈り結果に悪影響を与える可能性があります。

注記： 経路の幅が 2 m / 6.5 フィート未満の場合は、その経路内にガイドワイヤーを通してください。

本製品は、チャージステーションを正面から見た場合、常にガイド用ワイヤーの左側を走ります。 ガイドワイヤーと境界ワイヤーの間の距離について、ガイドワイヤーは右の境界ワイヤーから経路の合計幅の 1/3 を離し、経路の左側から合計幅の 2/3 の位置に敷設することをお勧めします（A）。ガイドワイヤーと境界ワイヤー間の最小距離は 30 cm/12 インチです。



行き止まり部の幅は、2.5 m / 8.5 フィート以上にする必要があります。

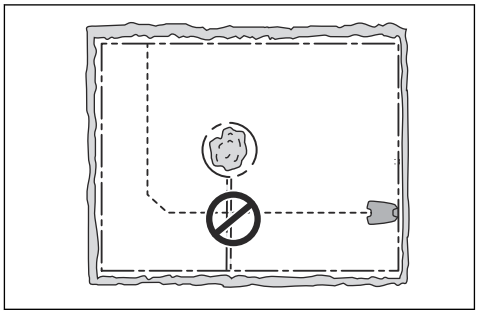


3.4.4.3 アイランドを作る方法

注意： 境界ワイヤー同士を交差させないでください。2 本の境界ワイヤーは平行でなければなりません。

注意： ガイドワイヤーと境界ワイヤーを交差させないでください。

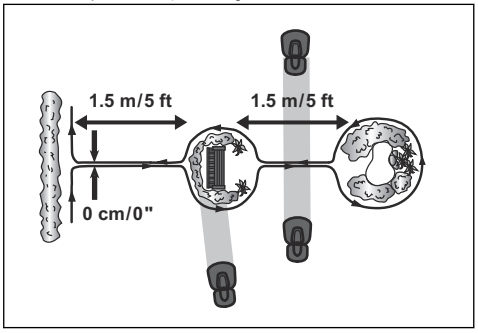
注意： 高さ 15 cm/6 インチ未満の障害物を隔離するか、取り除いてください。石、木、木の根など、わずかに傾斜している障害物を隔離するか、取り除いてください。これは本製品のブレードの損傷を防ぐためです。



アイランドを作るには、境界ワイヤーで作業エリアの一部を隔離します。作業エリア内のすべての障害物を隔離することをお勧めします。

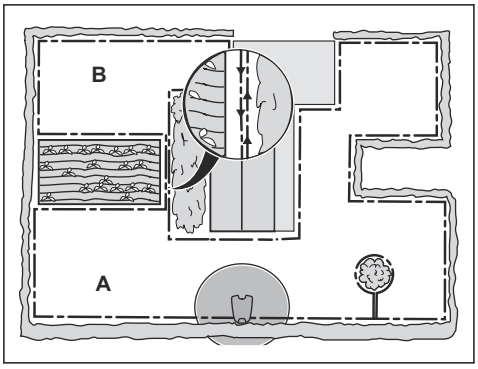
高さ 15 cm/6 インチ以上の木や茂みなど、一部の障害物は衝突に耐えます。本製品はこのような障害物に衝突して新しい方向を選択します。

- 障害物の周りに境界ワイヤーを敷設して、アイランドを作ります。
- アイランドへ往復する境界ワイヤー 2 本は、互いに近づけて設置してください。これにより、本製品はワイヤーを横断します。
- この 2 本の境界ワイヤーは、同じペグに入れてください。
- 障害物の前に、少なくとも 1.5 の空きスペースがあるようにしてください。



3.4.4.4 セカンダリエリアを作成する方法

作業エリアに、経路でつながっていない 2 つのエリアがある場合は、セカンダリエリア（B）を作成します。チャージステーションのある作業エリアが、メインエリア（A）です。



注記： メインエリアとセカンダリエリア間は、本製品を手動で移動させる必要があります。

- 境界ワイヤーをセカンダリエリア（B）の周りに敷設して、アイランドを作ります。*アイランドを作る方法 15* ページを参照してください。

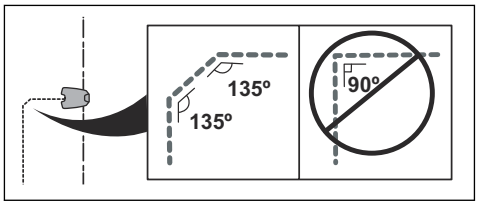
注記： 境界ワイヤーは作業エリア全体（A + B）をひとつのループとして囲むように敷設する必要があります。

注記： セカンダリエリアで芝を刈る場合は、*[Secondary area（セカンダリエリア）]* モードを選択する必要があります。*Secondary area（セカンダリエリア）27* ページを参照してください。

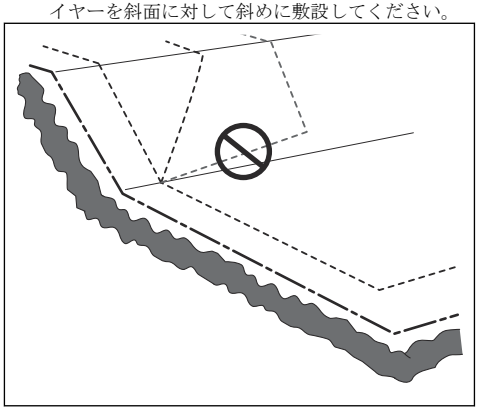
3.4.5 ガイドワイヤーの敷設場所について

チャージステーションのガイドワイヤーは作業エリアを通って境界ワイヤーに接続します。本製品には、ガイドワイヤーが 2 本あります。ガイドワイヤーはすべて、以下の方法で同様に敷設してください。

- チャージステーションの前から最低 2 m / 7 フィート空けて、ガイドワイヤーをまっすぐに敷設します。
- チャージステーションに向かって、ガイドワイヤーの左側にできるたけ多くの空きスペースがあるようにしてください。
- ガイドワイヤーは、境界ワイヤーから 30 cm / 12 インチ以上離してください。
- ガイドワイヤーを取り付けるときは、ワイヤーを鋭角や直角に曲げず、緩やかに曲げてください。



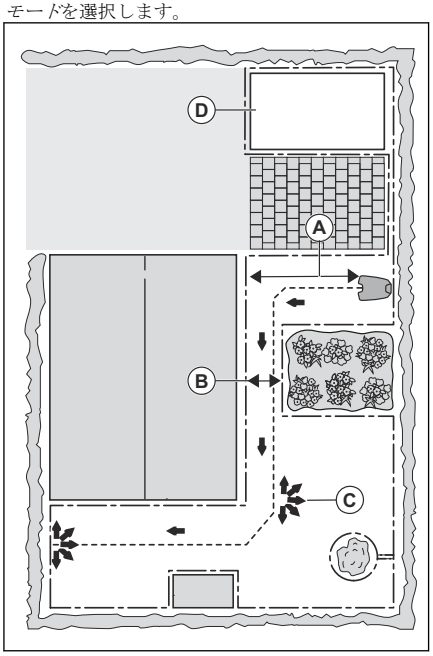
- 作業エリアに斜面がある場合は、ガイドワイヤーを斜面の下から斜面の上までまっすぐに敷設してください。まっすぐに敷設できない場合は、ガイドワイヤーを斜面に対して斜めに敷設してください。



注意： 図に示すように、ガイドワイヤーを斜面と平行にしないでください。このように設置すると、芝の傷みが激しくなるおそれがあります。

3.4.6 作業エリアの例

- チャージステーションが狭いエリア（A）に設置されている場合は、チャージステーションの前から境界ワイヤーまでの距離が 3 m / 10 フィート以上あることを確認してください。
- 作業エリアにガイドワイヤーを敷設していない経路（B）がある場合は、境界ワイヤーの距離を 2 m/6.5 フィート以上空けることをお勧めします。経路にガイドワイヤーが敷設されている場合は、境界ワイヤーの距離を 60 cm/24 インチ以上空けることをお勧めします。
- 狭い通路（B）でつながったエリアが作業エリアにある場合は、最初はガイドワイヤーに沿い、一定の距離（C）を通過したらガイドワイヤーから離れるように本製品を設定できます。設定は*芝生範囲 24* ページで変更できます。
- 本製品に搭載された GPS アシストナビゲーションは、運転の最適化に役立ちます。*芝生範囲 24* ページを参照してください。
- 作業領域にセカンダリエリア（D）が含まれている場合は、*セカンダリエリアを作成する方法 16* ページを参照してください。本製品をセカンダリエリアに置き、*［Secondary area（セカンダリエリア）］モード*を選択します。



3.5 本製品の設置

3.5.1 設置ツール

- ハンマー／プラスチックハンマー : 杭を簡単に地面に打ち込むことができます。
- エッジカッター／まっすぐな鋤 : 境界ワイヤーを埋設します。
- コンビネーションプライヤー : 境界ワイヤーを切断し、コネクターを圧着します。
- アジャスタブルプライヤー : カプラーを圧着します。

3.5.2 チャージステーションを設置する方法

注意： チャージステーションのプレートに新しく穴を開けないでください。

注意： チャージステーションのベースプレートに足を乗せないでください。

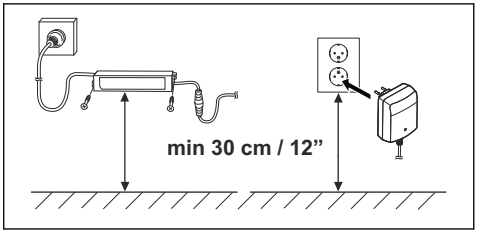
警告： 低電圧ケーブルと電源装置を接続する前に、プラグが清潔で乾燥していることを確認してください。

電源を接続する場合は、漏電遮断器（RCD）に接続されたコンセントのみを使用してください。

1. チャージステーションに関する指示を読み、理解してください。参照： *チャージステーションの設置場所について 12 ページ*。
2. 選択した場所にチャージステーションを置きます。

   注記： ガイドワイヤーを取り付けるまで、ネジを使用してチャージステーションを地面に設置しないでください。参照： *ガイドワイヤーを取り付ける方法 18 ページ*。

3. 低電圧ケーブルをチャージステーションに接続します。
4. 電源装置を 30 cm / 12 インチ以上の高さに置きます。



5. 電源装置を 100～240V の電源コンセントに接続します。

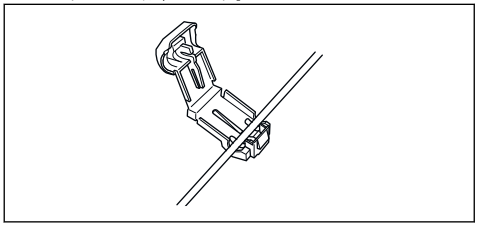
   注記： 境界ワイヤーやガイドワイヤーを敷設中に、本製品をチャージステーションに駐車して充電することができます。

6. ケーブルをペグで地面に固定するか、または地中に埋めます。参照： *ペグを使ってワイヤーを所定の位置に固定する方法 19 ページ*または *境界ワイヤーまたはガイドワイヤーを埋め込む方法 19 ページ*。
7. 境界ワイヤーとガイドワイヤーの敷設が完了したら、ワイヤーをチャージステーションに接続します。参照： *境界ワイヤーを取り付ける方法 18 ページおよび ガイドワイヤーを取り付ける方法 18 ページ*。
8. ガイドワイヤーを取り付けた後、付属のネジを使用してチャージステーションを地面に設置します。参照： *ガイドワイヤーを取り付ける方法 18 ページ*。

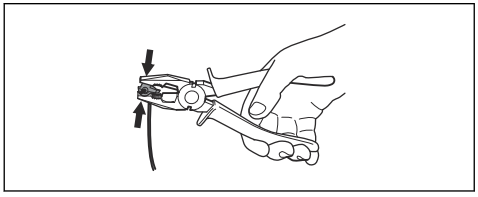
3.5.3 境界ワイヤーを取り付ける方法

注意： 余ったワイヤーをコイル内に入れないでください。コイルが本製品に対する干渉を起こす場合があります。

1. 作業エリア全体の周囲に境界ワイヤーを設置します。この設置は、チャージステーションの後ろ側から始め、そこで終了するようにしてください。
2. コネクターを開き、境界ワイヤーをコネクターのグリップ内に配置します。



3. プライヤーを使い、コネクターを閉じます。



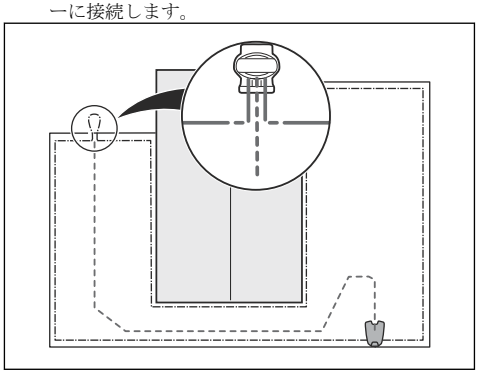
4. この境界ワイヤーを、それぞれのコネクターの 1-2 cm / 0.4-0.8 インチ上で切断します。
5. 境界ワイヤーの右側の端を、「AR」というマークの付いたチャンネルに入れます。
6. 境界ワイヤーの左側の端を、「AL」というマークの付いたチャンネルに入れます。
7. 右側のコネクターを、チャージステーションの「AR」というマークの付いた金属ピンに接続します。
8. 左側のコネクターを、チャージステーションの「AL」というマークの付いた金属ピンに接続します。
9. 左右の境界ワイヤーにケーブルマークを付けます。チャージステーションの上を歩かないでください。

3.5.4 ガイドワイヤーを取り付ける方法

注意： ツインケーブルや絶縁テープで絶縁されたネジ式端子ブロックは、満足のいく接合ではありません。土に含まれる湿気でワイヤーが酸化し、一定期間が経過すると回路が損傷します。

1. コネクターを開き、ワイヤーをコネクターのグリップ内に配置します。

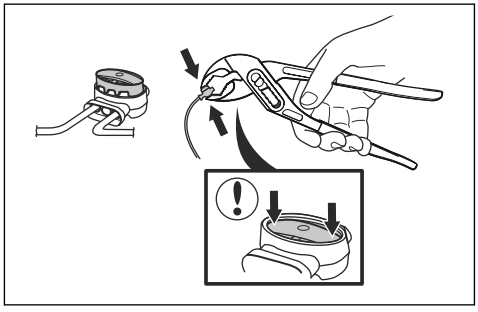
2. プライヤーを使い、コネクターを閉じます。
3. ガイドワイヤーを、それぞれのコネクターの 1-2 cm / 0.4-0.8 インチ上で切断します。
4. ガイドワイヤーをチャージステーションプレートの下、中央に置き、チャージステーションタワーのスロットに通します。
5. コネクターを、チャージステーションの「G1」または「G2」というマークの付いた金属ピンに接続します。
6. チャージステーションを電源コンセントから取り外します。
7. ガイドワイヤーにケーブルマークを付けます。
8. ガイドワイヤーの端を、境界ワイヤーのアイレットに置きます。
9. ワイヤーカッターを使用して、境界ワイヤーを切断します。
10. カプラーを使用して、ガイドワイヤーを境界ワイヤーに接続します。



a) 境界ワイヤーの両端とガイドワイヤーの端をカプラーに入れます。

注記： ガイドワイヤーの端がカプラーの透明部分を通っていることを確認してください。

b) アジャスタブルプライヤーでカプラーのカバーを押し下げてカプラーにワイヤーを取り付けます。



11. ガイドワイヤーをペグで地面に取り付けるか、または地中に埋めます。*ペグを使ってワイヤーを所定の位置に固定する方法 19* ページまたは*境界ワイヤーまたはガイドワイヤーを埋め込む方法 19* ページを参照してください。
12. チャージステーションを電源に接続します。

3.6 ペグを使ってワイヤーを所定の位置に固定する方法

注意： ペグが境界ワイヤーとガイドワイヤーを保持して地面に固定されていることを確認します。

注意： 設置直後に芝を短く刈り込み過ぎると、ワイヤーの絶縁を損傷することがあります。絶縁を損傷しても、数週間または数ヵ月後まで作業中断が発生しないことがあります。

1. 境界ワイヤーとガイドワイヤーを地面に置きます。
2. ペグを、75 cm / 30 インチ以下の間隔をあけて置きます。
3. ハンマーまたはプラスチックハンマーで、ペグを地面に打ち込みます。

注記： 数週間後には、このワイヤーは芝で覆われて見えなくなります。

3.7 境界ワイヤーまたはガイドワイヤーを埋め込む方法

- エッジャーまたはストレートシャベルで、地面に溝を切ります。
- 境界ワイヤーまたはガイドワイヤーを 1-20 cm / 0.4-8 インチの深さで埋め込みます。

3.8 境界ワイヤーまたはガイドワイヤーを延長する方法

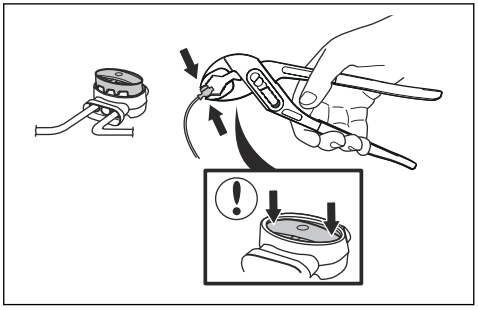
注記： 境界ワイヤーまたはガイドワイヤーが作業エリアに対して短すぎる場合は、延長します。カプラーなどの予備部品は、純正部品を使用してください。

1. チャージステーションを電源コンセントから取り外します。
2. 延長用カプラーを取り付ける必要がある場所では、境界ワイヤーまたはガイドワイヤーをワイヤーカッターで切断します。
3. 延長用カプラーを取り付ける必要がある場所に、延長用のワイヤーを追加します。

4. 境界ワイヤーまたはガイドワイヤーを正しい位置に置きます。
5. ワイヤーの端部をカプラー内に入れます。

注記： 境界ワイヤーまたはガイドワイヤーの端がカプラーの透明部分を通っていることを確認します。

6. アジャスタブルプライヤーでカプラーのカバーを押し下げてカプラーにワイヤーを取り付けます。

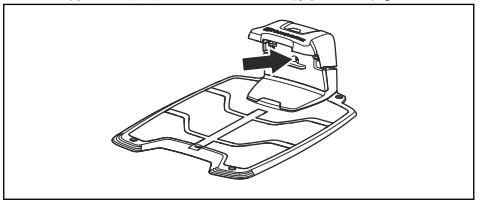


7. ペグを使って、境界ワイヤーまたはガイドワイヤーを正しい位置に置きます。
8. チャージステーションを電源に接続します。

3.9 本製品設置後の点検

3.9.1 チャージステーションを目視点検する方法

1. チャージステーションの LED インジケータランプが緑色に点灯していることを確認します。

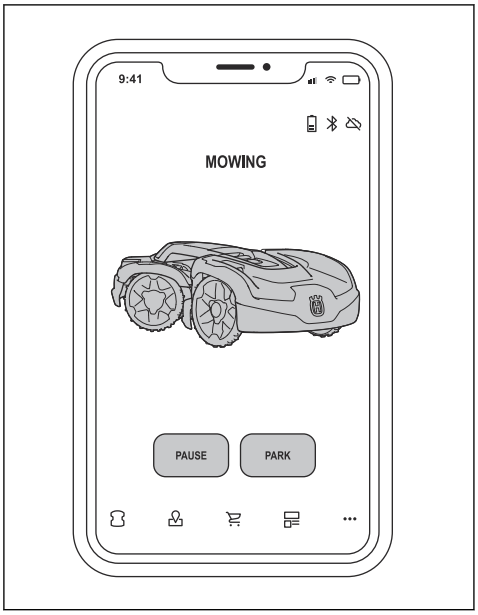


2. LED インジケータランプが緑色に点灯していない場合は、設置状態を確認します。参照： *チャージステーションの LED インジケータ 44 ページ* および *チャージステーションを設置する方法 17 ページ*。

3.10 Automower® Connect

Automower® Connect は、モバイルデバイス用の無料アプリです。このアプリは、製品の設置、設定、操作に使用します。アラームや統計情報などの詳細情報は Automower® Connect アプリでも確認できます。

このアプリには、次の 2 つの接続モードがあります。長距離携帯電波接続と短距離 Bluetooth® 接続です。



- 本製品の現在の状況とバッテリーの充電状態を示すダッシュボード。

注記： 地域により、使用されている携帯電波システムが異なるため、Automower® Connect の携帯電波接続がサポートされない国もあります。付帯の Automower® Connect ライフタイムサービスは、作業エリアに のサードパーティのサブサプライヤーが存在する場合にのみ適用されます。

3.10.1 Automower® Connect アプリのインストール

1. Automower® Connect アプリをモバイルデバイスにダウンロードします。
2. Automower® Connect アプリで Husqvarna アカウントを登録します。
3. 登録されたメールアドレスにメールが送信されます。電子メールの手順に従って、24 時間以内にアカウントを認証します。
4. Automower® Connect アプリで Husqvarna アカウントにログインします。

3.10.2 Automower® Connect と本製品をペアリングする方法

1. *本製品を初めて始動する方法 21 ページ* の手順 1 ～6 を実行します。
2. Automower® Connect アプリの指示に従ってください。

3.10.3 無線ファームウェアのダウンロード (Firmware over the air FOTA)

本製品には、新しいファームウェアを自動的にダウンロードする機能があります。新しいファームウェアが利用可能になると、アプリに通知が表示され、新しいファームウェアのインストールを選択できます。工場出荷時の設定では、この機能は有効になっています。

3.10.4 Automower™ Direct

Automower™ Direct は、短距離 Bluetooth® 接続を使用するアプリであり、Automower® 435X AWD に組み込まれています。

ハスクバーナは、長距離携帯電波接続の期間、通信範囲のいずれも保証することはできません。本製品の近くにいれば、Bluetooth® を通じて本製品と通信することが可能です。本製品の製品 PIN コードがある限り、Automower™ Direct はハスクバーナアカウントなしで使用できます。

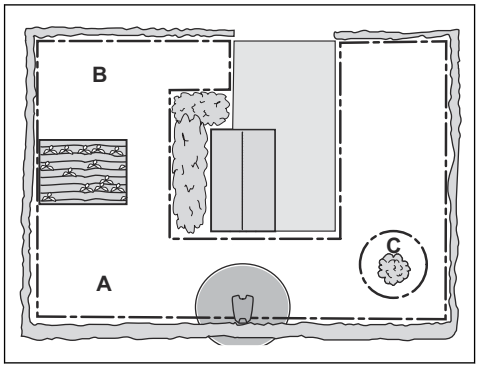
3.10.4.1 Automower® Direct の使い方

1. Automower® Connect アプリをモバイルデバイスにダウンロードします。
2. Automower® Connect アプリのスタート画面で、Automower® Direct を選択します。
3. ご使用のモバイルデバイスと本製品で、Bluetooth® を起動します。*本製品を初めて始動する方法 21* ページを参照してください。
4. ディスプレイの *[Settings（設定）]* アイコンに移動し、Bluetooth® を有効にします。
5. Automower® Connect アプリで、ペアリングする製品を選択してください。
6. その製品の PIN コードを入力します。

注記： Bluetooth® の短距離接続範囲内にいれば、これらのメニューや機能にアクセスできます。

3.11 Automower® Intelligent Mapping (AIM)

Automower® Intelligent Mapping (AIM) は Automower® Connect アプリで使用できます。本製品のテクノロジーでは、GPS などさまざまなセンサーを使用します。マップの精度は約 1 m/3.3 フィートです。



AIM の一部の機能は次のとおりです。

- Automower® Connect アプリに、芝生のマップとチャージステーション、境界ワイヤー、ガイドワイヤー、アイランドが表示されます。
- 作業エリアごとにスケジュールと刈高を設定できる設置場所に作業エリア（A）と（B）を作成できます。
- 本製品が入れず、芝を刈ることのできない立ち入り禁止ゾーン（C）を作成できます。

注記： AIM 機能では、約 1 m/3.3 フィートの精度で、作業エリアと立ち入り禁止ゾーンを設定できます。

AIM マップのデータ収集が自動的に開始されます。本製品は、データを収集しながら動作し、マップは 1〜2 週間で完成します。本製品が動作してデータを収集するときには、芝生上の動かせる障害物を取り除きます。ワイヤーまたはチャージステーションの設置場所を変更する場合は、新しいマップを作成する必要があります。Automower® Connect アプリの AIM の詳細をお読みください。

3.12 本製品を初めて始動する方法

本製品の電源を初めて入れるときは、操作を開始する前に、いくつかの基本設定を行う必要があります。

1. **ジョグホイール**を 3 秒間押し続け、本製品の電源をオンにします。

   注記： 本製品の Bluetooth® ペアリング操作モードが 3 分間有効になります。本製品とモバイルデバイス間のペアリング操作が正常に完了しなかった場合は、**ジョグホイール**を使用して Bluetooth® を選択し、再度有効にします。

2. 工場出荷時の PIN コード 1234 を本製品に入力します。
3. Automower® Connect アプリで Husqvarna アカウントにログオンします。

4. ご使用のモバイルデバイスで、Bluetooth® を起動します。
5. Automower® Connect アプリで *[My mowers（登録した芝刈機）]* を選択し、本製品を追加します。
6. Automower® Connect アプリの指示に従ってください。

注記： Husqvarna は、工場出荷時の PIN コードをアプリで別の PIN コードに変更することをお勧めします。

---

4 設定

本製品は工場出荷時に設定されていますが、設定は各作業エリアに合わせて変更できます。

4.1 スケジュール

[Schedule（スケジュール）] で、本製品のスケジュール設定を変更できます。

[Schedule（スケジュール）] 機能により、本製品の稼働時間を制御します。本製品は、稼働していないときはチャージステーションに駐車します。アプリのスケジュール概要で、製品が稼働する日時を確認できます。

作業エリアが本製品の最大面積性能より小さい場合は、[Schedule（スケジュール）] の設定が可能です。設定することで、芝生や本製品の損耗を防ぐことができます。工場出荷時に設定されたスケジュールでは、本製品は毎日 24 時間休みなく稼働します。

スケジュール設定の計算については、を参照してください *スケジュール設定の計算 23 ページ*。

4.1.1 スケジュール設定の計算

1. 芝生の面積を、m^2 / yd^2 単位で計算します。
2. この面積（m^2 / yd^2）を、おおよその運転時間で割ります。以下の表を参照してください。
3. 計算結果は、本製品が毎日動作するべき時間数になります。

注記： この運転時間は概算値で、平坦で障害物のない作業エリアを想定して算出されています。作業エリアに斜面や障害物が多い場合は、*[Schedule（スケジュール）]* 設定を長くする必要があります。

モデル	概算運転時間（m^2 / yd^2 / h）
Automower® 435X AWD	146 / 175

例: 500 m^2 / 600 ヤード ^{2} の芝生を Automower® 435X AWD で刈る場合。

500 m^2 / 146 ≈ 3.5 時間

600 yd^2 / 175 ≈ 3.5 時間

日／週	時間／日	スケジュール設定
7	3.5	10:00 - 13:30 / 10 am - 1.30 pm

4.2 刈高

4.2.1 刈高の調整

刈高は、3 cm/1.2 インチから 7 cm/2.8 インチまで調整できます。

注意： 新規設置後の最初の数週間は、ループワイヤーを損傷しないように、刈高を 7 cm/2.8 インチに設定する必要があります。その後、毎週刈高を下げることができます。

4.2.2 TargetHeight

TargetHeight 機能を使用すると、10 日間の間に、刈高が最高値から指定された刈高に徐々に下がります。この期間中に手動で刈高を変更すると、TargetHeight 機能が無効化されます。

4.3 操作

[Operation（操作）] では、本製品の動作設定を変更できます。

4.3.1 障害物回避

[Object avoidance（障害物回避）] 機能により、本製品は、障害物に近づくと速度を下げ、衝突を回避します。

注記： このため、障害物の周囲の芝が刈られなくなることがあります。この機能が原因で、背の高い芝を本製品が十分に切断できなくなることがあります。

4.3.2 天候タイマー

*天候タイマー*により、芝の成長具合に合わせて芝刈り時間が自動的に調整されます。本製品は、スケジュール設定より長く運転することはできません。

注記： *天候タイマー*を使用する場合、*天候タイマー*の運転時間をできる限り長くすることをお勧めします。必要以上にスケジュールを制限しないでください。

1 日の最初の動作は、スケジュール設定で設定します。本製品は、常に 1 回の芝刈りサイクルを完了してから、

引き続き動作するかどうかが*天候タイマー*により決定されます。

注記： 製品が 50 時間以上動作を停止した場合、または*すべてのユーザー設定がリセット*された場合は、*天候タイマー*がリセットされます。 *スケジュール設定のリセット*が行われても、*天候タイマー*は変更されません。

4.3.3 ECO モード

[ECO mode（ECO モード）] では、本製品の駐車中や充電中に、境界ワイヤー、ガイドワイヤー、チャージステーションの信号が無効になります。ループ信号が無効になっている場合、チャージステーションの LED インジケータは緑色に点滅します。

注記： *[ECO mode（ECO モード）]* は、電力を節約し、ヒアリングループやガレージドアなど、他の機器との干渉を防止するために使用します。

注記： 作業エリア内で本製品を手動で始動するには、最初にループ信号を有効にする必要があります。

4.3.3.1 ループ信号の有効化

1. 本製品をオンにします。
2. 本製品をチャージステーションに入れます。
3. **STOP** ボタンを押します。
4. 2 秒待ってから、本製品をチャージステーションから取り外します。
5. チャージステーションの LED インジケータが緑色に点灯していることを確認します。
6. 芝刈りを開始する位置に本製品を置きます。

4.4 Installation（設置）

[Installation（設置）] では、本製品の設置設定を変更できます。

4.4.1 チャージステーションの探索

本製品は、3 種類の方法でチャージステーションを探すよう設定できます。

- *チャージステーションの信号*
- *境界ワイヤーに沿う*
- *ガイドワイヤーに沿う*

工場出荷時には、この 3 つの検索方法を同時に使用するように設定されています。工場出荷時の設定を使用した場合、可能な限り早くチャージステーションを見つけることができるとともに、芝生の上にわだちができるリスクが最小限になります。本製品は常に*チャージステーションの信号*の検索から開始します。指定された間隔の後には、*ガイドに沿う*と*境界ワイヤーに沿う*も使用します。

本製品がワイヤーに追従できない原因は次のとおりです。

- ワイヤーの近くの障害物が隔離されていない。
- チャージステーション、境界ワイヤー、ガイドワイヤーが*チャージステーションの設置場所について 12 ページ*、*境界ワイヤーの敷設場所について 13 ページ*、*ガイドワイヤーの敷設場所について 16 ページ*の指示に従って設置されていない。

4.4.1.1 チャージステーションの信号

設置場所によっては、チャージステーションの信号強度を下げる必要があります。たとえば、チャージステーションが低木や壁などの障害物の近くに置かれている場合などです。本製品は、障害物の反対側にあるチャージステーション信号を検出し、チャージステーションを探しますが、障害物がチャージステーションへの移動を妨げます。チャージステーション信号を *[min（最小）]*、*[avg（平均）]*、*[max（最大）]* に設定できます。

注記： Husqvarna では、チャージステーション信号を *[max（最大）]* に設定することをお勧めします。通常、チャージステーションの信号到達範囲を狭めるよりも、チャージステーションを移動する方が良い方法です。

4.4.1.2 ガイドワイヤーと境界ワイヤーの追従

本製品が境界ワイヤーとガイドワイヤーを追従してチャージステーションの検知を開始するタイミングに関する時間間隔を設定できます。

4.4.2 芝生範囲

本製品に搭載された GPS アシストナビゲーションは、運転の最適化に役立ちます。

[Lawn coverage（芝生範囲）] 機能を使用して、手動設定にします。

注記： GPS アシストナビゲーションを有効化すると、GPS サービスがある場合にナビゲーションがオンになります。 GPS サービスが利用できない場合、本製品は動作の手動設定を使用します。

4.4.2.1 芝生範囲機能の設定

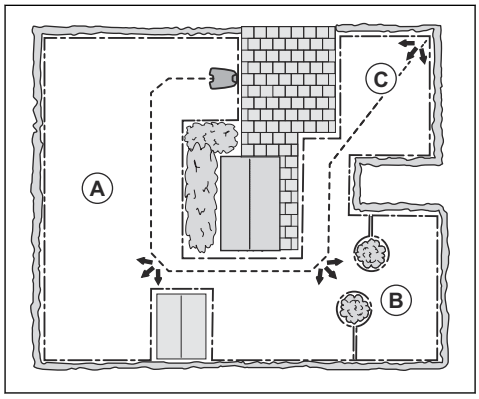
本製品が作業エリア内の離れた部分を芝刈りできるように、*[Lawn coverage（芝生範囲）]* 機能を使用します。狭い通路で接続している離れた部分が作業エリアに含まれる場合、十分に刈られた作業エリアを保持するために、*[Lawn coverage（芝生範囲）]* 機能を使用します。本製品が芝刈りをスタートする遠隔エリアを最大 5 つまで設定できます。

本製品は最初に、指定された距離になるまでガイドワイヤーに沿って走行し、作業エリアで芝刈りを開始します。

エリア A、約 50%

エリア B、約 30%

エリア C、約 20%



エリアごとに有効または無効にできます。*[Test（テスト）]* 機能を使用して、チャージステーションから製品が芝刈りを開始する必要のある地点までの距離を測定します。

デフォルト設定では、本製品はチャージステーションを離れる回数のうち 20% の割合でガイドワイヤーに 300 m/980 フィート追従します。ガイドワイヤーが 300 m / 980 フィートより短い場合、本製品は、ガイドワイヤーと境界ワイヤーが接続する地点までワイヤーに沿って進みます。

4.4.3 ワイヤー通過運転

本製品のフロント部は常に、境界ワイヤーとの間に指定されている距離を保って移動し、その距離まで近づくと、作業エリア内へ戻っていきます。*[Drive past wire（ワイヤーを通過）]* 機能の工場出荷時設定は 31 cm/13 インチです。20-50 cm/10-15 インチの範囲で距離を選択できます。

注記： 工場出荷時の設定では、本製品はワイヤーを通過して 11 cm/4.3 インチ刈ります。

注記： *[Drive Past Wire（ワイヤーを通過）]* の距離が変更されると、作業エリア内にあるすべての境界ワイヤーについて距離が変更されます。

4.4.4 スタート地点

[Starting point（スタート地点）] 機能を使用すると、本製品が動作を開始する前にチャージステーションからどの程度前進するかを設定できます。この機能は、スペースが限られたエリアにチャージステーションを設置する場合に使用します。

注記： スタート地点は、チャージステーションの前方からガイドワイヤーまでの距離よりも近くに設定してください。*ガイドワイヤーの敷設場所について 16 ページ*を参照してください。

4.5 アクセサリー

[Accessories（アクセサリー）] では、本製品のアクセサリーの設定を変更できます。

4.5.1 ヘッドライト

ヘッドライトをいつ点灯するかをコントロールする設定には、以下の 4 つがあります。

- *常時オン*
- *夜のみ（19：00～00：00）*
- *夜から朝（19：00～07：00）*
- *常時オフ*

デフォルトの設定は *[Always on（常時オン）]* です。エラーが発生した場合は、ヘッドライトを点滅に設定できます。

4.5.2 Automower® ハウスとの衝突の回避

このオプションが有効になっている場合は、本製品と Automower® ハウスの摩耗が減りますが、チャージステーション周囲で芝を刈り取らない部分が広くなります。

4.6 全般（Bluetooth® のみ）

この機能は、日時を設定したり、デフォルトの設定にリセットしたりするために使用します。

4.6.1 Time & date（時刻 & 日付）

時刻と日付は手動で変更することも、モバイルデバイスの時刻と日付を使用して変更することもできます。

4.6.2 工場設定へのリセット

ユーザー設定は、リセットして工場出荷時の設定に戻すことができます。

注記： *PIN コード*、*ループ信号*、*メッセージ*、および*日付と時刻*はリセットされません。

4.7 セキュリティ

セキュリティ設定で、PIN コード、GeoFence、その他のセキュリティ機能を制御します。*[Security（セキュリティ）]* メニューにアクセスするには、正しい PIN コードを入力する必要があります。

このメニューは、モバイルデバイスが Bluetooth® で製品に接続されている場合にのみ使用できます。

4.7.1 新規ループ信号

本製品とチャージステーションの間で一意のリンクを作成するため、ループ信号がランダムに選択されます。ごくまれに、隣接する 2 つの装置で非常に類似した信号を使用している場合など、新しい信号を生成することが必要になる場合があります。

4.7.2 PIN コードの変更

PIN コードは変更できます。新しい PIN コードをメモに記録します。参照： *はじめに 6* ページ。

4.7.3 盗難防止

[Theft protection（盗難防止）] メニューで、アラーム持続時間およびアラームをトリガーするイベントを設定することができます。工場出荷時の設定では PIN コードが必要で、アラームの持続時間は 1 分です。

4.7.3.1 PIN コードを要求

これは、**[STOP（ストップ）]** ボタンを押した後は、正しい PIN コードを入力しないと、本製品を操作したり制御したりできなくなるという機能です。間違った PIN コードを連続して 5 回入力すると、本製品は一時的にロックされます。新しく不正な試行が行われるたびに、ロック時間が延長されます。

4.7.3.2 アラーム持続時間

アラーム信号を持続させる時間を設定できる場合があります。1 分から 10 分の間で設定できます。

4.7.3.3 ストップボタン押下状態

アラーム *「STOP button pressed（ストップボタン押下状態）」* が有効になっている場合は、誰かが **[STOP（ストップ）]** ボタンを押し、その後 30 秒以内に PIN コードが入力されないと、このアラームが出されます。

4.7.3.4 持ち去り

アラーム *「Carried away（持ち去り）]* が有効になっている場合に本製品が想定外の動きを感知すると、このアラームが出されます。

4.7.4 GeoFence

GeoFence は、本製品のための仮想フェンスを作る、GPS ベースの盗難防止機能です。本製品が、中心位置から設定距離以上に離れている場合、本製品は無効化され、アラームが作動します。GeoFence が有効な場合、中心位置は本製品の現在位置に設定されます。アラームを停止して本製品を起動するには、PIN コードが必要です。本製品の電源をオンにしたときにのみ、GeoFence は有効化されます。

4.8 Automower® Connect（Bluetooth® のみ）

Automower® Connect では、Automower® Connect モジュールを有効または無効にできます。また、信号強度や接続ステータスの確認、新しいペアリングの開始、ペアリングされたアカウントからの本製品の削除を行うこともできます。

4.9 メッセージ

このメニューでは、過去の障害および情報メッセージを表示できます。一部のメッセージでは、障害の是正に役立つヒントやアドバイスが表示されます。

何かに引っかかったりバッテリー残量が不足したりなど、何らかの理由で本製品に障害が発生した場合は、その障害についてのメッセージと発生時刻が保存されます。

同じメッセージが数回繰り返された場合は、設置場所または本製品に対する調整が必要であるかもしれません。*Installation（設置）12* ページを参照してください。

4.10 芝刈りプロファイル

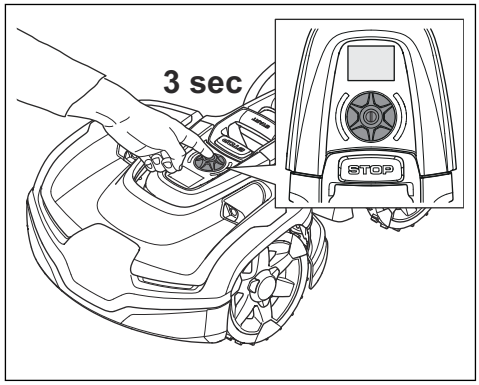
*芝刈りプロファイル*には、さまざまな設定を保存できます。複数の場所に 1 つの製品を使用する場合や、同じ位置で異なる設定がある場合に、この機能を使用します。*芝刈りプロファイル*には、製品設定、地図オブジェクト、およびそれらの設定が保存されます。

5 Operation（操作）

5.1 本製品をオンにする

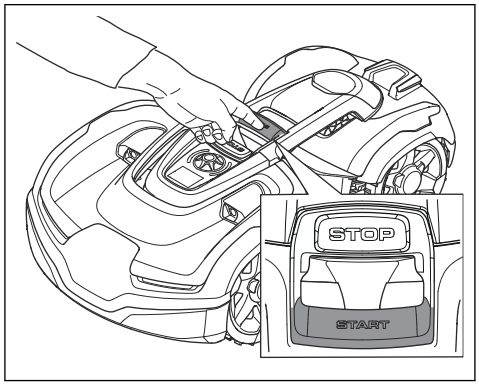
警告： 本製品を使用する前に、安全に関する章を読んで理解してください。

1. **ジョグホイール**を 3 秒間押し続けます。



注記： ［**STOP**］ボタンが押し下げられていることを確認します。**STOP** ボタンが押し下げられていないと、ディスプレイに **STOP** シンボルが表示されます。

2. **ジョグホイール**を使用して、PIN コードを入力します。メニューにアクセスするには、正しい PIN コードを入力する必要があります。間違った PIN コードを連続して 5 回入力すると、本製品は一時的にロックされます。新しく不正な試行が行われるたびに、ロック時間が延長されます。
3. 動作モードを選択し、**ジョグホイール**を押します。参照： *操作モード 27* ページ。
4. ［**START**］ボタンを押して、本製品を始動します。



バッテリーが完全に充電され、*［Schedule（スケジュール）］* で本製品が動作するように設定されている場合にのみ、本製品はチャージステーションから移動できます。

5.2 操作モード

Automower® Access メニューでは、次の操作モードを選択できます。

- Main area（メインエリア）
- Secondary area（セカンダリエリア）
- 駐車

5.2.1 メインエリア

［Main area（メインエリア）］ は、本製品が芝刈りと充電を自動的に行う、標準の操作モードです。

5.2.2 Secondary area（セカンダリエリア）

セカンダリエリアの芝刈りをするには、動作モード *［Secondary area（セカンダリエリア）］* を選択する必要があります。このモードでは、使用者が、メインエリアとセカンダリエリアの間を手動で本製品を移動させる必要があります。選択した期間、またはバッテリーが空になるまで、本製品は芝刈りを行います。

5.2.3 駐車

［Park（駐車）］ モードが選択されている場合は、以下の動作を選択できます。

- さらなる通知があるまで駐車
- 特定の時間数だけ駐車

Automower® Access のメニューツリーの概要 10 ページを参照してください。

5.2.3.1 Park until further notice（さらなる通知があるまで駐車）

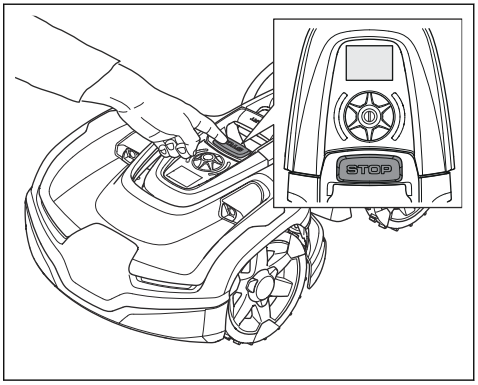
本製品は、別の操作モードが選択されるまで、チャージステーションに移動します。

5.2.3.2 特定の時間数だけ駐車

本製品は、チャージステーションに移動し、選択した時間だけ留まります。その後、*[Schedule (スケジュール)]* 設定で設定された通常の動作に自動的に移行します。この動作の選択は、一時的な散水や芝生の手入れなど、動作を一時的に停止する必要がある場合に適しています。

5.3 本製品の停止方法

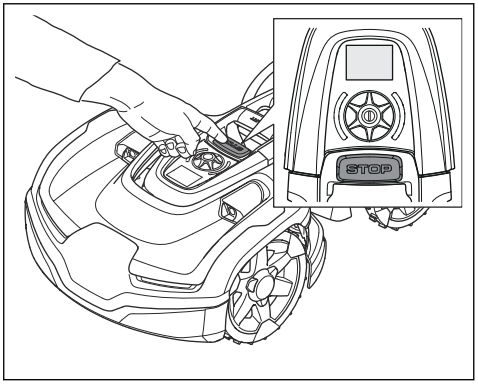
1. 本製品の上部にある［**STOP**］ボタンを押します。



本製品が停止し、カッティングモーターが停止します。

5.4 本製品をオフにする

1. **STOP** ボタンを押して、本製品を停止します。



2. 必要に応じて PIN コードを入力します。
3. **ジョグホイール**を 3 秒間押し続けます。LED ステータスインジケータが消灯することを確認します。

注記： LED インジケータが点灯している場合、または点滅している場合。参照：*LED ステータスインジケータ 11 ページ*。

注記： 本製品がチャージステーションに駐車しているときは、本製品をオフにできません。

5.5 バッテリーの充電

本製品が新品の場合や長期間の保管後は、バッテリーが空になっている可能性があります。本製品を始動する前に、バッテリーを充電してください。

1. 本製品をチャージステーションに入れます。
2. チャージプレートが接点プレートと接触するように、本製品をチャージステーションに配置します。
3. 本製品のディスプレイで、本製品が充電されていることを確認します。

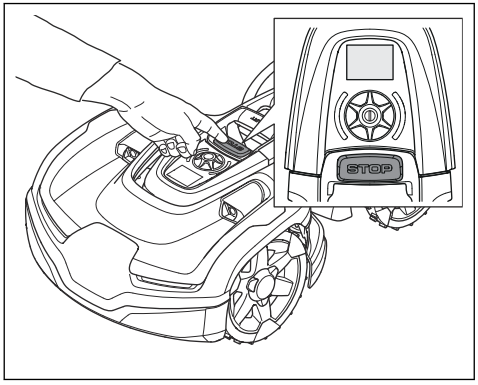
注記： バッテリーが空の場合、本製品を起動する前に長時間充電する必要があります。

5.6 Automower® Access で刈高を調整する方法

刈高は、MIN（3 cm / 1.2 インチ）から MAX（7 cm / 2.8 インチ）まで調整できます。

注意： 新しく設置してから数週間は、ループワイヤーの損傷を防ぐために、刈高を MAX に設定してください。その後、週ごとに刈高を下げることができます。

1. **STOP** ボタンを押して、本製品を停止します。



2. **ジョグホイール**を使用して *[Settings (設定)]* を選択します。
3. **ジョグホイール**を使用して、刈高のアイコンを選択します。
4. **ジョグホイール**を回して刈高を変更します。
5. **ジョグホイール**を押すと、その刈高が選択されます。

6 メンテナンス

6.1 はじめに - メンテナンス

警告： 製品のメンテナンスを行う場合は本製品を OFF に設定します。

警告： 保護グローブを着用してください。

本製品の動作を改善し、耐用年数を延長するために、定期的に清掃し、摩耗した部品を交換してください。

本製品が新品の場合は、ブレードディスクとブレードを毎週点検してください。摩耗が少ない場合は、次回ブレードディスクとブレードを点検する間隔を長くすることができます。ブレードディスクとブレードに摩耗が多い場合は、より頻繁に定期点検を行ってください。

ブレードディスクが容易に回転し、ブレード端部が損傷していないことが重要です。ブレードの通常の寿命は 3～6 週間です。以下の条件により、ブレードの寿命が長く、あるいは短くなります。

- 作動時間および作業エリアの寸法。
- 芝の長さと厚さ。
- 土壌、砂、および肥料の使用。
- 作業エリアの球果、ツール、石、根などの物体。

注記： ブレードの切れ味が悪い場合、刈り取り結果が不十分になる可能性があります。ブレードの交換方法については、「*ブレードの交換 31 ページ*」を参照してください。

6.2 メンテナンスのスケジュール

メンテナンスのスケジュールには、本製品のサービスとメンテナンスの方法が記載されています。より良い動作のため、また製品寿命を延ばすために、メンテナンスのスケジュールに従ってください。

X = この取扱説明書に説明があります。

O = この取扱説明書には説明がありません。認定サービス代理店にご連絡ください。

準備	**毎週**	**1 年に 1 回**	**3 年に 1 回**
製品を清掃します。参照： *製品の清掃 30 ページ*。	X		
本製品に損傷や摩耗がないことを確認します。	X		
ファームウェアのアップデートを行います。		O	
推奨される更新があるか、サービスメッセージを確認します。		O	
サービス			
ブレードを点検し、必要に応じてブレードとブレードのネジを交換します。参照： *ブレードの交換 31 ページ*。	X		
チャージステーションの接点プレートを点検して研磨します。		X	
本製品のチャージプレートを点検して研磨します。		X	
本製品を保管する前に、バッテリーを完全に充電してください。参照： *バッテリーの充電 28 ページ*。		X	
ホイールに磨耗がないか点検します。		O	
衝突ショックアブソーバーを点検して清掃します。フロント／リヤ衝突ショックアブソーバーの締付トルクを点検します。		O	
本製品が正しく取り付けられて、充電されていることを確認します。		O	
本製品の本体のチャージプレートのケーブルおよびコネクターを確認します。		O	

準備	毎週	1 年に 1 回	3 年に 1 回
シャーシのラバーグロメットを点検して、正しく密封されていることを確認します。		O	
スキッドプレートとスキッドプレートのベアリングを点検します。		O	
刈高調整システムのラバー製蛇腹を点検します。		O	
衝突ショックアブソーバーのラバー製蛇腹を点検します。		O	
衝突ショックアブソーバーのラバー製蛇腹を交換します。			O
エアフローフィルターを点検して清掃します。		O	
エアフローフィルターを交換します。			O
シャーシのネジの締付トルクを確認します。		O	
シャーシを開き、シールストリップをすべて交換します。			O
フロント／リヤホイールベアリングおよびリンクアームベアリングを点検します。		O	
最後のステップ			
ソフトウェアサービスツールを使用して、本製品の機能テストを行います。		O	

6.3 製品の清掃

注意： 本製品は高圧洗浄機や流水で洗浄しないでください。清掃には溶剤を使用しないでください。

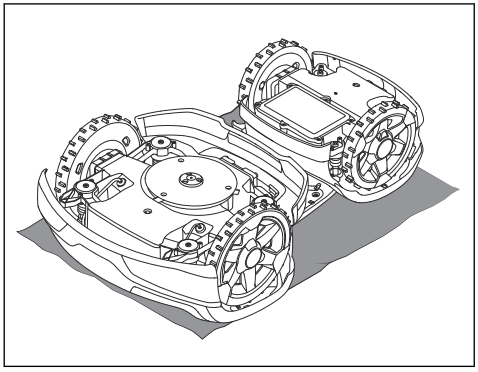
本製品は、ホイールに草が詰まっていると斜面で十分に動作しません。本製品の清掃には柔らかいブラシを使用してください。

Husqvarna は、アクセサリーとして入手可能な特別なクリーニングおよびメンテナンスキットの使用をお勧めします。詳細情報は、Husqvarna 担当者までお問い合わせください。

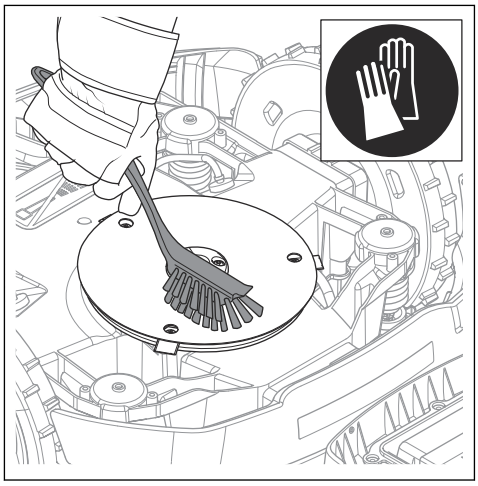
6.3.1 ブレードディスクを清掃する方法

ブレードディスクとブレードは週に 1 回点検してください。

1. 本製品をオフにします。参照： *本製品をオフにする 28 ページ*。
2. ブレードディスクを上にして、柔らかくきれいな面に本製品を置きます。



3. ブラシを使用して、ブレードディスクを清掃します。



4. ブレードディスクがスムーズに回転することを確認してください。
5. ブレードが損傷しておらず、自由に回転することを確認します。

6.3.2 シャーシの清掃

- ブラシまたは湿らせた布でシャーシの下部を清掃します。

6.3.3 ホイールの清掃

本製品は、ホイールに草が詰まっていると斜面で十分に動作しません。

- ホイールの清掃には柔らかいブラシを使用してください。

6.3.4 本製品の本体の清掃

- 湿らせた布と石鹸液を使用して、本製品の本体を清掃します。

6.3.5 チャージステーションの清掃

警告： チャージステーションや電源装置のメンテナンスやクリーニングを行う場合は、電源装置をコンセントから外してください。

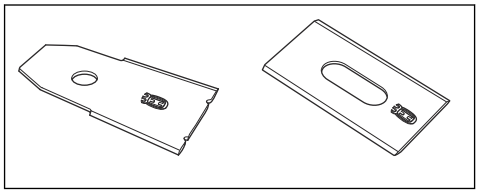
注意： チャージステーションは高圧洗浄機や流水で洗浄しないでください。

注記： チャージステーションの中に障害物があると本製品はチャージステーションの中に入れません。チャージステーションを定期的に清掃してください。

- 草や小枝などの異物をチャージステーションから取り除きます。

6.4 ブレードの交換

警告： Husqvarna は、王冠形の H マークが型押しされている Husqvarna の純正ブレードを使用する場合にのみ安全性を保証できます。

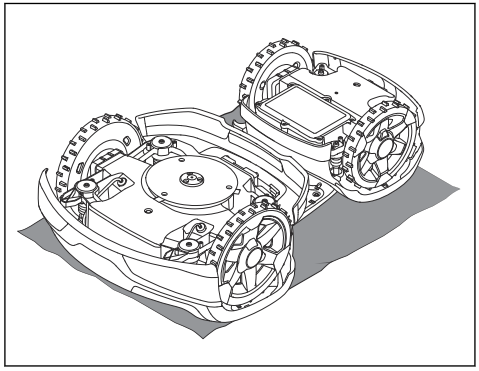


警告： ブレードを交換する場合は、ネジを交換する必要があります。使い古したネジはすぐに摩耗し、ブレードが緩むことがあります。これは、重傷の原因となる可能性があります。

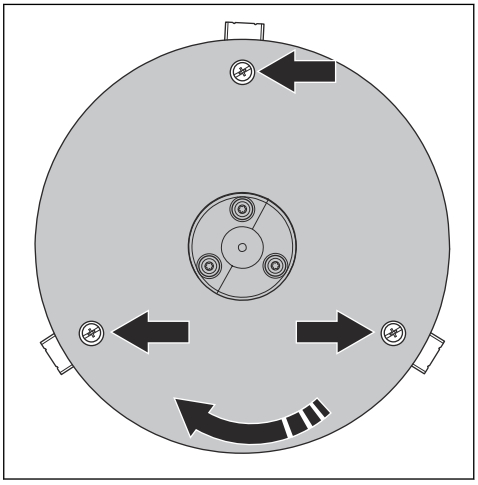
安全な操作のため、磨耗または損傷したブレードは交換してください。十分な切断結果を確保しエネルギー使用量を低減するために、ブレードは定期的に交換してください。芝刈りシステムのバランスを取るため、3 枚のブレードとねじをすべて同時に交換する必要があります。

6.4.1 ブレードの交換

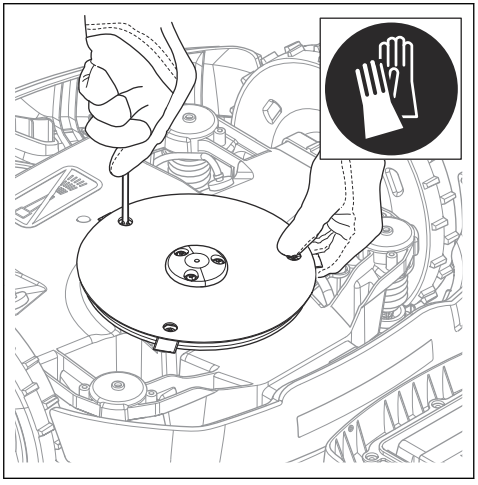
1. 本製品をオフにします。参照： *本製品をオフにする 28 ページ*。
2. 保護グローブを着用します。
3. ブレードディスクを上にして、柔らかくきれいな面に本製品を置きます。



4. ブレードのネジがスキッドプレートの穴の位置に揃うまで、スキッドプレートを回します。



5. 3 本のネジを外します。



6. 各ブレードとネジを外します。
7. 新しいブレードとネジを取り付けます。
8. ブレードがスムーズに回転することを確認してください。

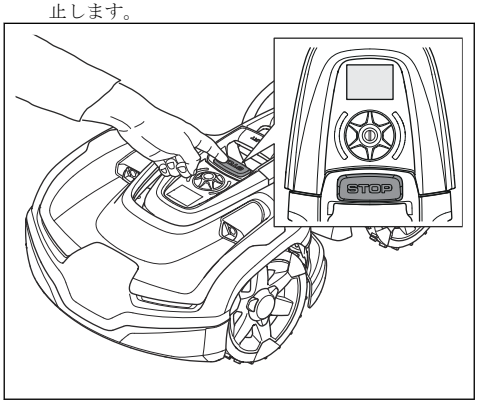
6.5 トップカバーを交換する方法

トップカバーは、さまざまな色のものが用意されています。詳しくは、最寄りの Husqvarna 販売店までお問い合わせください。

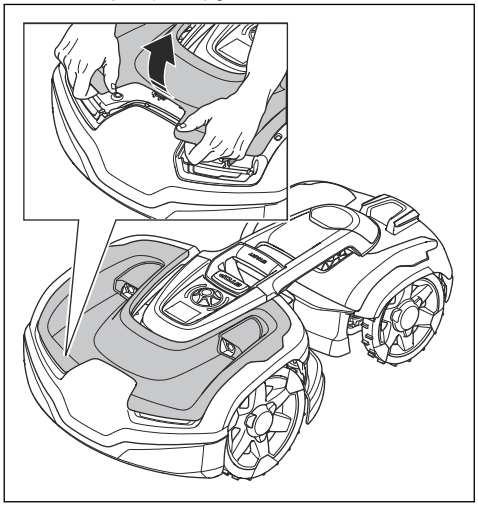
注意： カバーを取り外す前に、本製品から草や汚れを取り除いてください。

6.5.1 フロントトップカバーを取り外す方法

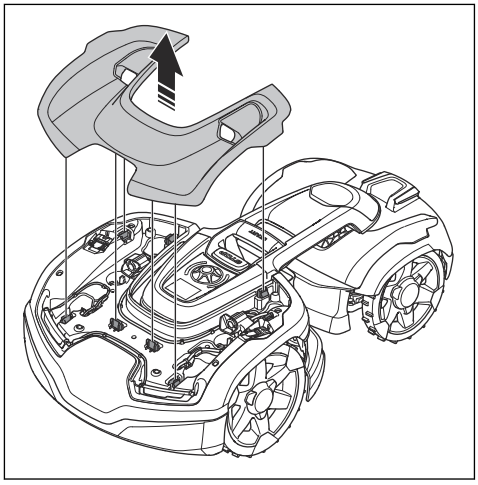
1. **［STOP（ストップ）］**ボタンを押して、本製品を停止します。



2. 製品のスナップ式クリップからフロントトップカバーを取り外します。

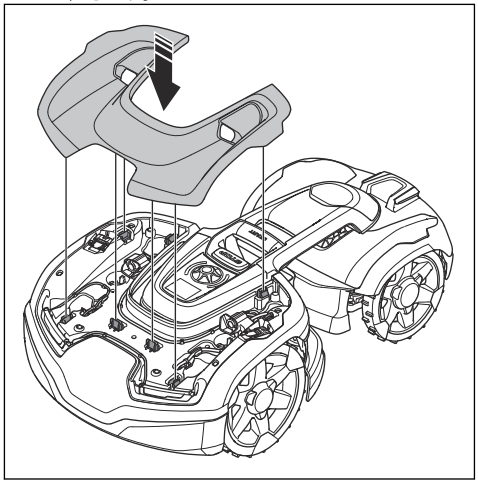


3. フロントトップカバーを持ち上げます。

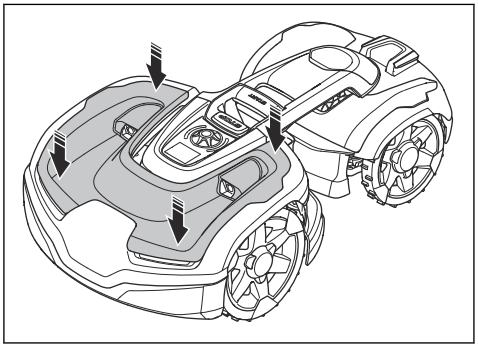


6.5.2 フロントトップカバーを取り付ける方法

1. フロントトップカバーをスナップ式クリップの上に置きます。

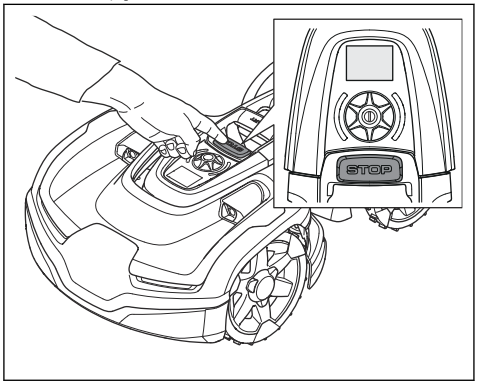


2. フロントトップカバーを所定の位置に押し込みます。

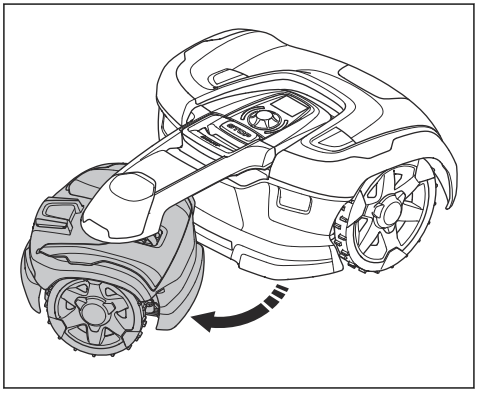


6.5.3 リヤトップカバーを取り外す方法

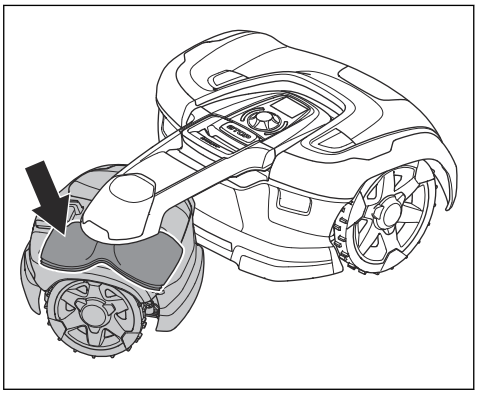
1. **［STOP（ストップ）］**ボタンを押して、本製品を停止します。



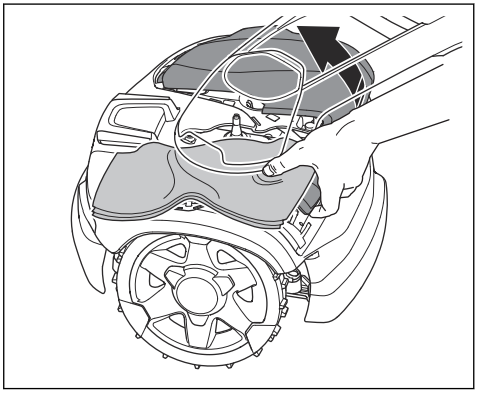
2. リヤボディを左または右に回します。



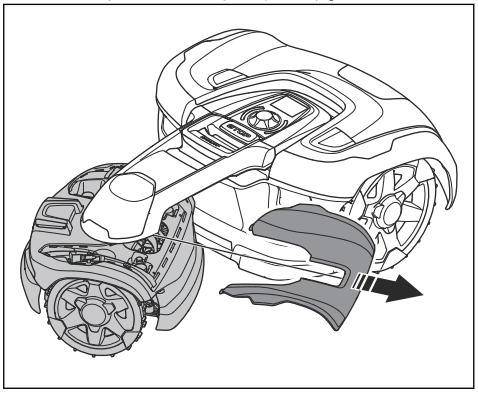
3. リヤトップカバーとリンクアームの間に保護材を取り付けます。これはリヤトップカバーを損傷から守るためです。



4. リヤトップカバーを引きます。

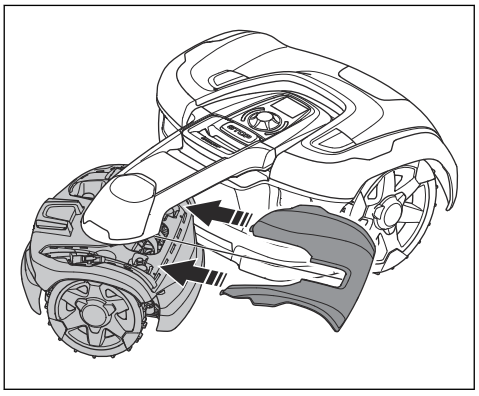


5. リヤトップカバーを取り外します。

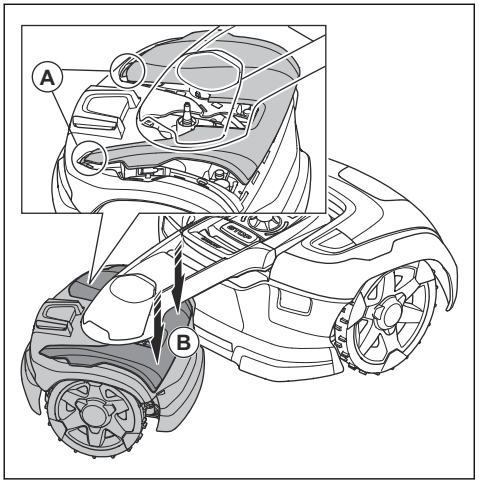


6.5.4 リヤトップカバーを取り付ける方法

1. リヤトップカバーをリヤボディ上に置きます。



2. リヤトップカバーを（A）の位置に置き、2 つの磁石を押してトップカバー（B）を取り付けます。



6.6 バッテリー

注意： 本製品を保管する前に、バッテリーを完全に充電してください。バッテリーが完全に充電されていないと、バッテリーが損傷するおそれがあります。

本製品の動作時間が通常の充電よりも短い場合、バッテリーの寿命が近づいていることを示しています。動作時間を長くするにはバッテリーを交換します。

注記： バッテリーの寿命は、稼働させる時期の長さや本製品を 1 日に稼働させる時間の長さに関連します。稼働させる時期が長い場合、または 1 日に稼働させる時間が長い場合は、バッテリーをより頻繁に交換する必要があります。

6.7 冬期の保守

冬期保管前に保守を行うため、ご使用の本製品をお近くの Husqvarna セントラルサービスにお持ちください。冬期保守を毎年行うことで、本製品を良好な状態に保ち、次のシーズンも、問題なく最高の状態で使用することができます。

保守には、通常以下の作業エリアが含まれます。

- 本体、シャーシ、ブレードディスクおよびその他のすべての可動部品の完全な掃除。
- 本製品の機能および部品のテスト。
- ブレードやベアリングなどの摩耗する品目の点検、および必要に応じた交換。
- 本製品のバッテリー容量のテストに、および必要な場合はバッテリー交換の推奨。
- 新しいファームウェアが入手可能な場合は、本製品のアップデート。

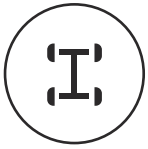
7 トラブルシューティング

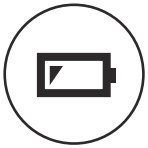
7.1 はじめに - トラブルシューティング

この章では、不具合がある場合に Automower® Connect および Automower® Access に表示されるメッセージが多数リストアップされています。各メッセージに関して、原因と取るべき対策の提案も記載されています。この章では、本製品が期待通りに作動しない場合にガイドとして役立つ、いくつかの症状も説明しています。不具合や問題が発生した際の対処方法の詳細については、www.husqvarna.com を参照してください。

7.2 Automower® Access ディスプレイのエラーシンボル

Automower® Access ディスプレイにエラーシンボルが表示されている場合は、**STOP** ボタンを押してメインメニューに移動します。エラーの詳細については、Automower® Connect を参照してください。

エラーシンボル	説明	対応措置
	本製品が停止しました。	問題の原因を調べます。例えば、本製品が作業エリア内にない場合や、障害物の上に載っている場合などです。 本製品を始動します。
	駆動ホイールの周りに草などの障害物があるため、本製品が停止しました。	駆動ホイールを点検して、草などの異物を取り除いてください。本製品を始動します。問題が解決しない場合は、お近くの Husqvarna 販売店にお問い合わせください。
	ループ信号が見つからないため、本製品が停止しました。	Refer to the error message *No loop signal* in *故障メッセージ 37 ページ*のエラーメッセージ「*No loop signal（ループ信号なし）*」を参照してください。

エラーシンボル	説明	対応措置
	バッテリー残量が少ないため、本製品が停止しました。	Refer to the error message *Empty Battery* in *故障メッセージ 37 ページ*のエラーメッセージ「*Empty battery（バッテリーが空です）*」を参照してください。
	カッティングシステムが詰まっているため、本製品が停止しました。	ブレードディスクとその周辺部を点検してください。カッティングシステムに詰まりを引き起こすおそれのある草などの異物を取り除いてください。
	電子システムの一時的な問題またはファームウェアの問題により、本製品が停止しました。	本製品を再始動してください。問題が解決しない場合は、お近くの Husqvarna 販売店にお問い合わせください。
	アラームが作動したため、本製品が停止しました。	本製品を始動します。アラーム設定は、Automower® Connect アプリの *[Security（セキュリティ）]* メニューで変更できます。
	誤った PIN コードが入力されたため、本製品が停止しました。	正しい PIN コードを入力してください。PIN コードを忘れた場合は、アプリを使用して、登録した電子メールアドレスに PIN コードを送信します。電子メールアドレスを登録していない場合は、お近くの Husqvarna 販売店にお問い合わせください。

7.3 故障メッセージ

次の表には、Automower® Connect に表示される不具合メッセージが多数記載されています。一部のエラーは Automower® Connect で確認でき、一部は本製品の Automower® Access ディスプレイでメッセージを確認する必要が

あります。同じメッセージが頻繁に表示される場合は、最寄りの Husqvarna 販売店にお問い合わせください。詳しくは、次を参照： *メッセージ 26 ページ*。

メッセージ	原因	対応措置
No loop signal (ループ信号なし)	電源または低電圧ケーブルが接続されていません。	チャージステーションの LED ステータスを確認します。LED が点灯していない場合は、電気が来ていないことを示します。コンセントの接続を調べて、アースブレーカーが落ちていないかを確認してください。低電圧ケーブルがチャージステーションに接続されていることを確認してください。
	電源または低電圧ケーブルが損傷しています。	電源または低電圧ケーブルを交換します。
	境界ワイヤーがチャージステーションに接続されていません。	境界ワイヤーコネクターがチャージステーションに正しく取り付けられているか点検してください。損傷がある場合、コネクターを交換してください。参照： *境界ワイヤーを取り付ける方法 18 ページ*。
	境界ワイヤーが破損しています。	チャージステーションの LED で信号を確認してください。LED が境界ワイヤーの破損を示している場合は、破損箇所を確認してください。純正のカプラーを使用して、ループの損傷しているセクションを新品のループワイヤーで接合して交換してください。参照： *ループワイヤーの損傷を発見 47 ページ*。
	*ECO モード*が有効になっている状態で、本製品がチャージステーションの外で始動しようとしました。	本製品をチャージステーションに入れます。本製品を始動します。
	本製品とチャージステーションがペアリングされていません。	本製品をチャージステーションに入れて、新しいループ信号を発生させます。参照： *新規ループ信号 26 ページ*。
	境界ワイヤーをアイランドとの間の経路で交差させています。	境界ワイヤーが正しく敷設されていることを確認します。参照： *境界ワイヤーを取り付ける方法 18 ページ*。
	金属の物体（フェンス、補強鋼材）や埋設ケーブルからの干渉があります。	境界ワイヤーを移動する、作業エリアのアイランドを増やすなどにより、信号強度を高めます。
	本製品が境界ワイヤーから遠すぎます。	作業エリアのすべての部分が境界ワイヤーから 35 m/115 フィート以内になるように設置を修正してください。
Wheel motor blocked (ホイールモーターがブロックされています)	草などの異物がドライブホイールに巻き付いています。	駆動ホイールを点検して、草などの異物を取り除いてください。
Wheel drive problem (ホイール駆動の問題)		

メッセージ	原因	対応措置
Cutting system blocked（カッティングシステムブロック）	草などの異物がブレードディスクに巻き付いています。	ブレードディスクを点検して、草などの異物を取り除いてください。
	ブレードディスクが水たまりに入っています。	本製品を移動して、作業エリアに水が溜まらないようにしてください。

メッセージ	原因	対応措置
Trapped（走行不能）	本製品は、多数の障害物の背後の小さな領域で動けなくなっています。	本製品をその場所から動けなくしている障害物があるかどうかを確認してください。
Wrong PIN code（PIN コードの誤り）	入力された PIN コードが誤っています。入力に 5 回失敗すると、本製品は一定時間ロックされます。	正しい PIN コードを入力してください。PIN コードが正しくない場合は、アプリのリンクを使用して、登録した電子メールアドレスに PIN コードを送信します。電子メールアドレスを登録されていない場合は、お近くの Husqvarna 担当者にお問い合わせください。
Empty battery（バッテリー空）	本製品がチャージステーションを見つけることができません。	ガイドワイヤーの位置を変更してください。参照： *ガイドワイヤーを取り付ける方法 18 ページ*。 チャージステーションの探索方法について、設置時の設定を確認してください。参照： *チャージステーションの探索 24 ページ*。
	バッテリーが消耗しています。	バッテリーを交換します。参照： *廃棄 50 ページ*。
	チャージステーションのアンテナに不具合があります。	チャージステーションのインジケータランプが赤色に点滅しているかどうか点検してください。参照： *チャージステーションの LED インジケータ 44 ページ*。
スリップ／駆動なし	本製品は何かに引っかかっており、スリップしています。	本製品を解放して、駆動力がなくなった原因を解消してください。濡れた草が原因であれば、芝生が乾いてから本製品を使用してください。
	作業エリア内に急な斜面があります。	勾配の最大許容値は 70 %です。これより急な斜面は隔離してください。参照： *境界ワイヤーを斜面に設置する方法 14 ページ*。
	ガイドワイヤーが斜面に適切に敷設されていません。	ガイドワイヤーが斜面に対して斜めに取り付けられていることを確認します。参照： *ガイドワイヤーを取り付ける方法 18 ページ*。
Wheel motor overloaded（ホイールモーターが過負荷になっています）	本製品が何かに引っかかっています。	本製品を解放して、駆動力がなくなった原因を解消してください。濡れた草が原因であれば、芝生が乾いてから本製品を使用してください。

メッセージ	原因	対応措置
Charging station blocked（ステーションブロック）	チャージストリップとコンタクトストリップの接触がおそらく不良で、本製品が何度も充電を試みました。	本製品をチャージステーションに置いて、チャージストリップとコンタクトストリップの接触が良好であることを確認してください。接点プレートとチャージプレートを清掃してください。
	障害物に妨げられていると、本製品がチャージステーションに入れません。	障害物を取り除いてください。
	ベースプレートが傾いているか曲がっています。	ベースプレートを平らな地面に置いてください。
Stuck in charging station（チャージステーションにスタック）	本製品はベースプレート上でスリップしています。	ベースプレートをきれいにします。
	経路に異物があるため、本製品がチャージステーションから出られなくなっています。	障害物を取り除いてください。
Upside down（上下反転）	本製品の傾きが大きすぎるか、ひっくり返っています。	本製品の上下を正しくしてください。
Mower tilted（芝刈機の傾き）	本製品の傾きが許容角度を超えています。	本製品を平らなエリアに移動してください。
Lifted（持ち上げられました）	障害物によりリフトセンサーが作動し、本製品が停止しました。	本製品を障害物から離します。問題が解決しない場合は、認定サービス技術者による対処が必要です。
Lifted in link arm（リンクアームが持ち上げられました）	障害物によりリンクアーム内のリフトセンサーが作動し、本製品が停止しました。	本製品を障害物から離します。問題が解決しない場合は、認定サービス技術者による対処が必要です。
Slope too steep（急すぎる斜面）	斜面が急すぎるため、本製品が停止しました。	境界ワイヤーの設置を変更して、この急斜面を作業エリアから除きます。参照： *境界ワイヤーの敷設場所について* ***13*** *ページ*。
Alarm!（注意！）Mower switched off（芝刈機スイッチオフ）	本製品がオフになったため、アラームが作動しました。	本製品のセキュリティレベルを *[Security（セキュリティ）]* メニューで調整してください。参照： *セキュリティ* ***26*** *ページ*。
Alarm!（注意！）Mower stopped（芝刈機の停止）	本製品が停止したため、アラームが作動しました。	
Alarm!（注意！）Mower was moved（芝刈機が動かされました）	本製品が持ち上げられたため、アラームが作動しました。	
Alarm!（注意！）Outside geofence（ジオフェンス外）	芝刈機が GeoFence の外に出たため、アラームが起動しました。	*Automower® Connect* メニューで、盗難防止エリア（GeoFence）を調整します。

メッセージ	原因	対応措置
Electronic problem（電気系の問題）	電子システムまたはソフトウェア関連の一時的な問題。	本製品を再始動してください。問題が解決しない場合は、認定サービス技術者がメッセージに対処する必要があります。
Loop sensor problem（ループセンサーの問題）		
Tilt sensor problem（傾斜センサー不具合）		
一時的な問題		
STOP ボタン不具合		
Ultrasonic problem（超音波の問題）		
GPS navigation problem（GPS ナビゲーションの問題）		
Angular sensor problem（角度センサーの問題）		
Switch cord problem（スイッチコードの問題）		
Invalid sub-device combination（無効なサブデバイス組み合わせ）		
Invalid system configuration（無効なシステム設定）		
Lift sensor problem（リフトセンサーの問題）		
Collision sensor problem（衝突センサーの問題）		
一時的なバッテリーの問題	バッテリーまたはファームウェア関連の一時的な問題。	本製品を再始動してください。 問題が解決しない場合は、認定サービス技術者がメッセージに対処する必要があります。
Battery problem（バッテリーの問題）		
Charging system problem（充電システムの問題）	チャージプレートと接点プレートに腐食や汚れがあります。	本製品を再始動してください。本製品のチャージプレートおよびチャージステーションの接点プレートを清掃してください。
	電子関連またはファームウェアの一時的な問題が本製品に発生しています。	本製品を再始動してください。問題が解決しない場合は、認定サービス代理店に相談してください。

メッセージ	原因	対応措置
Battery temperature outside limits（バッテリー温度が範囲外）	バッテリーの温度が高すぎる、または低すぎる場合、本製品は動作しません。	温度が設定された範囲内にあり、スケジュール設定によって本製品の動作が許可されると、本製品は動作を再開します。チャージステーションの設置場所が日光から保護されていることを確認してください。
バッテリーの誤った組み合わせ	バッテリータイプが不適切です。	メーカー推奨のバッテリーのみを使用してください。
Charging current too high（高すぎる充電電流）	電源装置が間違っているか、不具合があります。	本製品を再始動してください。 問題が解決しない場合は、認定サービス技術者がメッセージに対処する必要があります。
接続の問題	Automower® Connect モジュールの問題です。	本製品を再始動してください。 問題が解決しない場合は、認定サービス技術者がメッセージに対処する必要があります。
接続設定が復元されました	不具合により、Automower® Connect モジュールの接続設定が復元されました。	設定を確認して、必要に応じて設定を変更してください。
Outside working area（作業エリア外です）	チャージステーションまでの境界ワイヤーの接続が交差しています。	境界ワイヤーが正しく接続されていることを確認してください。参照：*境界ワイヤーの敷設場所について 13 ページ*。
	境界ワイヤーが作業エリアの端に近すぎます。	境界ワイヤーが説明書に従って設置されていることを確認してください。参照：*境界ワイヤーを取り付ける方法 18 ページ*。
	境界ループのそばにある作業エリアの斜面の勾配が大きすぎます。	
	アイランド周囲の境界ワイヤーの敷設が適切ではありません。	
	付近にある金属の物体（フェンス、補強鋼材）や埋設ケーブルからの干渉があります。	境界ワイヤーを移動する、作業エリアのアイランドを増やすなどにより、信号強度を高めます。
	本製品が、近くにある他の製品の設置場所からの信号を区別することが困難になっています。	本製品をチャージステーションに入れて、新しいループ信号を発生させます。参照：*新規ループ信号 26 ページ*。
Limited cutting height（刈高の制限）	刈高調整が動きません。	刈高調整を点検し、芝やその他の不要な物体を取り除いてください。問題が解決しない場合は、認定サービス技術者がメッセージに対処する必要があります。
Unexpected cutting height（予期しない刈高）		
Cutting height problem, drive（刈高の問題、駆動）		
Cutting height blocked（刈高ブロック）		
刈高の問題		

メッセージ	原因	対応措置
No power in charging station（チャージステーションの電力なし）	電源装置が間違っているか、不具合があります。	電源を点検します。必要に応じて、電源を交換します。
	電源の不具合です。	停電の原因を特定して解決してください。
	接点プレートとチャージプレートが接触していません。	チャージプレートと接点プレートが接続されていることを確認します。
Cutting system imbalance（カッティングシステムのアンバランス）	ブレードが少なすぎるか多すぎます。	ブレードディスクのブレードを点検します。
Weak GPS signal（GPS 信号微弱）	作業エリアの大部分で空が遮られています。	可能であれば、障害物を取り除いてください。 GPS ナビゲーション機能を無効にし、代わりに芝生範囲機能を使用してください。参照：*芝生範囲 24 ページ*。
Collision sensor problem, front/rear（衝突センサー不具合、前／後） *Collision（衝突）*	障害物が原因で本製品が停止しました。	本製品を障害物から取り除き、停止の原因を調べます。
	製品本体がシャーシの周囲を自由に動くことができません。	シャーシと本体の間にある汚れや異物を取り除き、本製品の本体がシャーシの周囲を自由に移動できることを確認してください。
	本製品の本体にゴム製ダンパーが正しく取り付けられていません。	ゴム製ダンパーが製品本体とシャーシに正しく取り付けられていることを確認します。問題が解決しない場合は、認定サービス技術者がメッセージに対処する必要があります。
Destination not reachable（移動先到達不可）	作業エリア内にガイドワイヤーや境界ワイヤーがないため、本製品は移動先に到達できません。	アプリ内で、作業エリアを新たに設置または編集し、作業エリア内にガイドワイヤーや境界ワイヤーを含めます。
	作業エリアまでの経路上に、通行をブロックする進入禁止が設定されているため、本製品は移動先に到達できません。	進入制限ゾーンを編集または削除するか、作業エリアの設置をやり直します。
Destination blocked（移動先ブロック）	移動先への経路が障害物によりブロックされています。	移動先への経路で、ブロックしている障害物を取り除きます。
Battery needs replacement（バッテリーの交換が必要）	バッテリーの健全性状態が低下しています。	バッテリーを交換します。認定サービス技術者に連絡してください。
Battery near end of life（バッテリーの寿命が近づいています）	バッテリーの健全性状態が大幅に低下しています。	バッテリーを交換します。認定サービス技術者に連絡してください。
Invalid firmware configuration（無効なファームウェア設定）	本製品のファームウェアが無効です。	本製品をチャージステーションに駐車して、経由でファームウェアをアップデートします。問題が解決しない場合は、認定サービス技術者に相談してください。
地図の問題	地図オブジェクトファイルが正しくありません。	アプリの地図を点検します。地図を調整して保存してください。
		地図を削除して新たにインストールしてください。

7.4 情報メッセージ

次の表には、Automower® Connect に表示される情報メッセージが多数記載されています。同じメッセージが頻繁に表示される場合は、最寄りの Husqvarna 販売店に連絡してください。詳しくは、*メッセージ 26 ページ*を参照してください。

メッセージ	原因	対応措置
Settings restored（設定の復元）	*［Reset all user settings（全ユーザー設定リセット）］* が実行されたことの確認です。	これは正常です。特別な操作は必要ありません。
Guide 1/2 not found（ガイド 1/2 不明）	ガイドワイヤーがチャージステーションに接続していません。	ガイドワイヤーのコネクターがチャージステーションにしっかりと取り付けられているか点検してください。*ガイドワイヤーを取り付ける方法 18 ページ*を参照してください。
	ガイドワイヤーが破損しています。	どこが損傷しているか探してください。純正のカプラーを使用して、ガイドワイヤーの損傷している部分を新品のループワイヤーと接合して交換してください。
	ガイドワイヤーが境界ループに接続されていません。	ガイドワイヤーが境界ループに正しく接続されているか点検してください。*ガイドワイヤーを取り付ける方法 18 ページ*を参照してください。
接続が変更されました	新しいループ信号が正常に変更されました。	特別な操作は必要ありません。
接続が変更されませんでした	ループ信号の変更に失敗しました。	新しいループ信号を作成し、数回試行します。問題が解決しない場合は、認定サービス技術者がメッセージに対処する必要があります。*新規ループ信号 26 ページ*を参照してください。
Slope too steep（急すぎる斜面）	斜面が急すぎるため、本製品が芝刈りを停止しました。	この問題が頻繁に発生する場合は、作業エリアに急な部分がなくなるように境界ワイヤーの設置を変更してください。
信号品質劣化	本製品の Automower® Connect モジュールが上下反転して取り付けられている、または本製品自体が傾いているか上下反転しています。	本製品が上下反転、または傾いていないか確認してください。問題が解消しない場合は、認定済みサービス技術者に相談してください。
ComBoard SW must be updated（通信基板のファームウェアの更新が必要です）	Automower® Connect モジュールのファームウェアを更新する必要があります。	ファームウェアを更新するには、認定されたサービス技術者に相談してください。
ジオフェンス問題	GPS システムとの通信が不十分（またはなし）のため、ジオフェンスが機能していません。	本製品を屋根のない場所に置いて 15 分間待ってください。問題が解消しない場合は、認定済みサービス技術者に相談してください。
	現在の作業エリアの GPS 信号が微弱です。GPS アシストナビゲーションが使用できません。	このメッセージが頻繁に表示される場合は、GPS アシストナビゲーションをオフにして、*［Lawn Coverage（芝生範囲）］* を手動で設定してください。

7.5 チャージステーションの LED インジケータ

正しく取り付けられている場合、チャージステーション
の LED インジケータは緑色です。チャージステーショ

ンの LED インジケータが緑色でない場合は、次のトラブルシューティング表に従ってください。

最寄りの Husqvarna 販売店に問い合わせるか、www.husqvarna.com で詳細を確認してください。

LED インジケータ	原因	対応措置
緑色に点灯	チャージステーションの信号は良好です。	特に必要ありません。
緑色に点滅	チャージステーション信号は良好で、*ECO* モードが有効になっています。	特に必要ありません。
青色に点滅	境界ワイヤーがチャージステーションに接続されていません。	境界ワイヤーをチャージステーションに接続します。
	境界ワイヤーが損傷しています。	境界ワイヤーの損傷した部分を、新品の境界ワイヤーに交換します。
赤色に点滅	チャージステーションのアンテナに干渉があります。	最寄りの Husqvarna 販売店にお問い合わせください。
赤色に点灯	回路基板のエラーか、チャージステーションに不適切な電源が接続されています。	エラーは必ず認定サービス技術者が修正してください。最寄りの Husqvarna 販売店にお問い合わせください。

7.6 症状

本製品が期待通りに作動しない場合は、下の症状ガイドに従ってください。

www.husqvarna.com には FAQ（よく尋ねられる質問集）があり、多くの一般的な質問に対する詳細な回答が記載されています。故障の原因がわからない場合は、最寄りの Husqvarna 販売店に連絡してください。

症状	原因	対応措置
本製品がうまくドッキングしない。	境界ワイヤーがチャージステーションからまっすぐ敷設されておらず、十分な距離がありません。	チャージステーションが説明書に従って設置されていることを確認してください。参照：*チャージステーションを設置する方法 17 ページ*
	チャージステーションが斜面上にあります。	チャージステーションを全体が水平な表面に置いてください。参照：*チャージステーションの設置場所について 12 ページ*。
本製品が指定していない時間に作動する。	本製品の時計を設定する必要があります。	時計を設定します。参照：*Time & date（時刻 & 日付）25 ページ*。
	芝刈りの開始時刻と終了時刻が不正確です。	開始時刻をリセットし、*[Schedule（スケジュール）]* 設定を変更します。参照：*スケジュール 23 ページ*。
本製品が振動する。	ブレードが損傷すると、カッティングシステムのバランスが悪くなります。	ブレードとネジを点検し、必要に応じて交換してください。参照：*ブレードの交換 31 ページ*。
	同じ位置にあるブレードが多すぎると、カッティングシステムのバランスが悪くなります。	各ネジに対してブレードが 1 枚だけ取り付けられていることを確認してください。
	異なるバージョン（厚さ）の Husqvarna ブレードが使用されています。	ブレードのバージョンが異なっていないかを調べてください。
走行するが、ブレードディスクが回転していない。	本製品は、チャージステーションを探しています。	特別な操作は必要ありません。本製品がチャージステーションを探しているときは、ブレードディスクは回転しません。

症状	原因	対応措置
バッテリーが空で、本製品をチャージステーションに駐車しても充電されずオンにすることができない。	バッテリーが完全に放電している場合は、バッテリーを充電して本製品をオンにできるまで長時間かかります。	本製品をチャージステーションに 24 時間駐車してから、本製品をオンすることができるかをテストします。問題が解決しない場合は、認定サービス技術者に相談してください。
1 回の充電で持続する本製品の芝刈り時間が通常よりも短い。	草などの異物がブレードディスクを妨害しています。	ブレードディスクを取り外して清掃してください。参照： *ブレードの交換 31 ページ*。
	バッテリーが消耗しています。	バッテリーを交換します。参照： *バッテリーの取り外し方法 50 ページ*。
芝刈り時間と充電時間が通常よりも短い。	バッテリーが消耗しています。	バッテリーを交換します。参照： *バッテリーの取り外し方法 50 ページ*。
本製品がチャージステーションで数時間停止している。	**[STOP]** ボタンが作動しました。	**[START]** ボタンが押し下げられていることを確認します。
	パーキングモードがオンになっています。	Automower® Access または Automower® Connect で操作モードを選択します。
	バッテリーの温度が高すぎる、または低すぎる場合は、本製品は動作できません。	チャージステーションの設置場所が日光から保護されていることを確認してください。
芝刈りの結果が不均一。	1 日あたりの本製品の作動時間が少なすぎます。	芝刈り時間を長くします。参照： *スケジュール 23 ページ*。
	作業エリアの配置に関して、*[Lawn coverage（芝生範囲）]* 機能の設定が適切ではありません。	*Lawn coverage（芝生範囲）* 機能の設定を確認してください。参照： *芝生範囲 24 ページ*。
	作業エリアの形状によっては、本製品がすべてのリモートエリアへの経路を見つけられるように *[Area 1-5（エリア 1～3）]* を使用する必要があります。	*[Area 1-5（エリア 1～3）]* を使用して、本製品がリモートエリアに移動できるようにしてください。参照： *芝生範囲 24 ページ*。
	作業エリアが広すぎます。	作業エリアを限定するか、作業時間を延長してください。参照： *スケジュール 23 ページ*。
	ブレードが鈍くなっています。	すべてのブレードを交換します。参照： *ブレードの交換 31 ページ*。
	設定された刈高に対して芝が長すぎます。	刈高を大きくしてから徐々に下げます。
	ブレードディスクまたはモーターシャフト周辺に草が蓄積しています。	ブレードディスクがスムーズに、容易に回転することを確認してください。そうでない場合は、ブレードディスクのネジを緩めて、草や異物を取り除いてください。参照： *ブレードディスクを清掃する方法 30 ページ*。
製品が Automower® Connect アプリに接続されない。	本製品は以前にアプリに接続されたことがなく、本製品が Automower® Connect アプリの *My mowers（登録した芝刈機）* のリストにありません。	本製品とモバイルデバイスのペアリング操作を行います。 *Automower® Connect と本製品をペアリングする方法 20 ページ*。

症状	原因	対応措置
製品に Automower® Connect アプリとの Bluetooth®（短距離）接続しかなく、携帯電波（長距離）接続ができない。	製品に Automower® Connect アプリへの携帯電波長距離接続がありません。	Automower® Connect アプリをモバイルデバイスにインストールします。Automower® Connect を選択して新しいペアリング操作を行います。
追加のモバイルデバイスと本製品を接続できない。	Bluetooth® で同時に本製品に接続できるモバイルデバイスは 1 つだけです。	接続された他のすべてのデバイスで Automower® Connect アプリを無効にしてください。問題が解決しない場合は、接続されたモバイルデバイスをオフにして再起動してください。問題が解決しない場合は、販売店にお問い合わせください。
以前は携帯電波接続が使用できたが、使用できなくなった。	携帯電波の接続に問題があります。	• エリアが携帯電波の範囲内であることを確認してください。 • アプリで Automower® Connect を無効にしてもう一度有効にします。1 時間待ってから再始動します。 • 本製品を再始動してください。 • アプリに新しいファームウェアがある場合はインストールして最新のファームウェアにしてください。 • Automower® Connect アプリの最新バージョンがインストールされていることを確認してください。 • 問題が解決しない場合は、販売店にお問い合わせください。

7.7 ループワイヤーの損傷を発見

ループワイヤーの損傷は、通常ショベルを使用した庭仕事など、意図せずにワイヤーを物理的に損傷するために起こります。また、霜柱の立つ国では、尖った石が地中で移動して、ワイヤーを損傷することがあります。敷設時にワイヤーを張り過ぎた場合も、損傷することがあります。

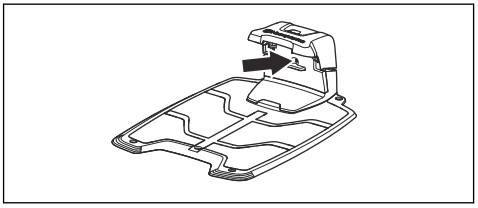
設置直後に芝を短く刈り込み過ぎた場合も、ワイヤーの絶縁体を損傷することがあります。絶縁を損傷しても、数週間または数ヵ月後まで作業中断が発生しないことがあります。これを防止するため、設置後の最初の数週間は必ず最大の刈高を選択し、それから 2 週間ごとに一度に 1 段階ずつ高さを下げて、希望の刈高に達するようにします。

ループワイヤーの接合不良により、接合を行ってから数週間で作業が中断することがあります。接合不良は、例えば、カプラーをプライヤーで十分に圧着していない場合や、純正カプラーより品質が劣るカプラーを使用した場合に発生することがあります。他のトラブルシューティングを行う前に、まずすべての接合を点検してください。

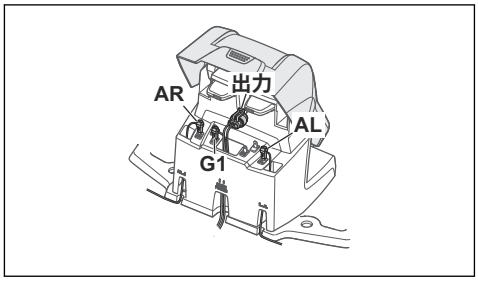
ワイヤーの損傷を見つけるには、非常に短いワイヤーのセクションだけが残るまで、損傷がありそうなループの間隔を段階的に半分にしていきます。

*ECO モード*が有効な場合は、以下の方法は使用できません。最初に必ず *ECO モード*をオフにしてください。*ECO モード 24* ページを参照してください。

1. チャージステーションのインジケータランプが青色で点滅していることを確認します。この場合、境界ループの破損を示しています。*チャージステーションの LED インジケータ 44* ページを参照してください。



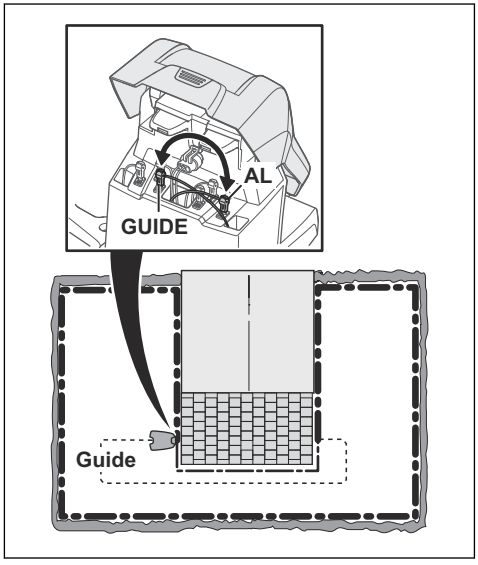
2. チャージステーションまでの境界ワイヤーが正しく接続されており、損傷していないことを確認します。チャージステーションのインジケータランプがまだ青色に点滅しているか確認してください。



3. チャージステーションでガイドワイヤーと境界ワイヤーの接続を切り替えます。

AL および G1 の接続を切り替えて開始します。一部のモデルには、追加のガイドワイヤー（G2、G3）があります。これらのワイヤーについても手順は同一です。

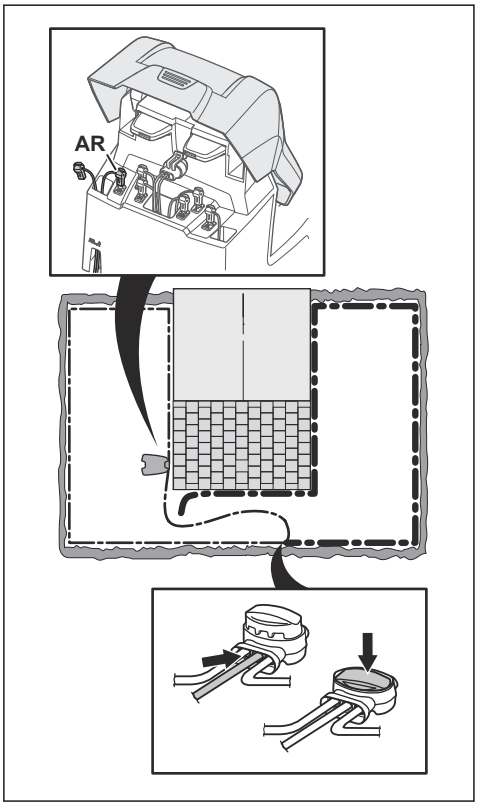
インジケータランプが緑色に点灯する場合は、境界ワイヤー上の AL とガイドワイヤーが境界ワイヤーに接続されている地点の間（図の黒い太線）のどこかで破損しています。



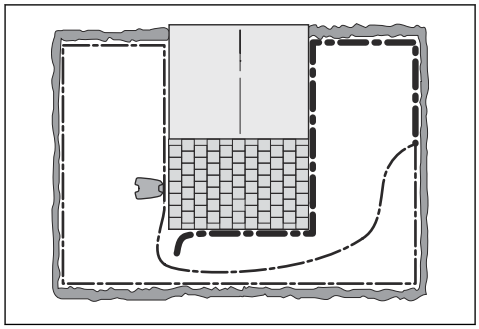
この不具合を修正するには、境界ワイヤー、コネクター、およびカプラーが必要です。

a) 問題があると思われる境界ワイヤーが短い場合、最も簡単な方法は AL と、ガイドワイヤーと境界ワイヤー（太い黒い線）が接続する地点との間にあるすべての境界ワイヤーを交換することです。

b) 問題があると思われる境界ワイヤーが長い場合（太い黒い線）、次の手順を実行します。AL と G1 を元の位置に戻します。AR の接続を外します。新品のループワイヤーを AR に接続します。この新品のループワイヤーのもう一端を問題があると思われるワイヤーセクションの中央に接続します。

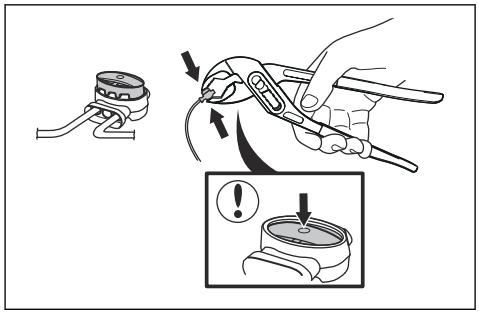


インジケータランプが緑色になったら、接続を解除した端から新しいワイヤーを接続した地点の間（下の図の黒い太線）のどこかでワイヤーが破損しています。 この場合は、接続解除した端に新しいワイヤーを近づけて（破損が疑われるワイヤーセクションのほぼ中央まで）、インジケータランプが緑色になるか再度確認します。



緑色点灯と青色点滅が切り替わるワイヤーのセクションが非常に短くなるまで、この作業を続けます。以下の手順 5 の指示に従います。

4. 上記の手順 3 でインジケータランプが青色で点滅したままの場合: AL と G1 を元の位置に戻します。次に AR と G1 を切り替えます。インジケータランプが緑色で点灯している場合、AL の接続を外して、新しい境界ワイヤーを AL に接続します。この新品のワイヤーのもう一端を問題があると思われるワイヤーセクションの中央に接続します。 上記の 3a) および 3b) と同じ手順に従います。
5. 破損を特定できたら、破損しているセクションを新品のワイヤーに交換します。常に純正のカプラーをお使いください。



8 搬送、保管、廃棄

8.1 搬送

同梱のリチウムイオンバッテリーは、危険物の規制に関する規則に準拠しています。

- 該当するすべての国内規制に従ってください。
- 民間の運送業者による商用輸送においては、梱包およびラベル付けに関して所定の要件に従ってください。

8.2 保管

- 本製品を完全に充電します。参照： *バッテリーの充電 28* ページ。
- 本製品をオフにします。参照： *本製品をオフにする 28* ページ。
- 製品を清掃します。参照： *製品の清掃 30* ページ。
- 本製品は、乾燥した霜の降りない場所に保管してください。
- 本製品のすべてのホイールを水平面に接地させます。
- チャージステーションを屋内に置いておく場合は、チャージステーションから電源とすべてのコネクターを取り外します。各コネクターワイヤーの端をコネクター保護ボックスに入れます。

注記： チャージステーションを屋外に置いておく場合は、電源とコネクターを外さないでください。

- 製品の保管に使用できるアクセサリーについての情報は、Husqvarna 販売店に連絡してください。

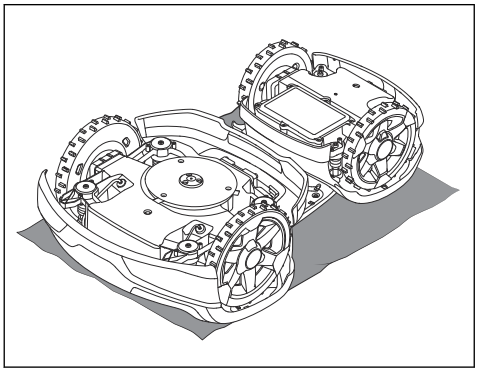
8.3 廃棄

- 地域のリサイクル要件および適用される法規に従ってください。
- バッテリーの取り外し方法については、*バッテリーの取り外し方法 50* ページを参照してください。

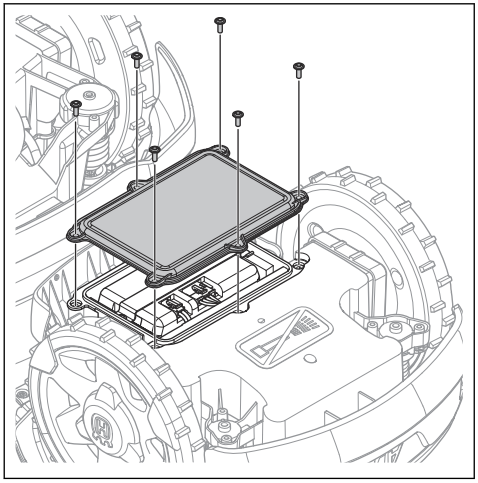
8.3.1 バッテリーの取り外し方法

注意： バッテリーは、製品を廃棄するときにのみ取り外してください。

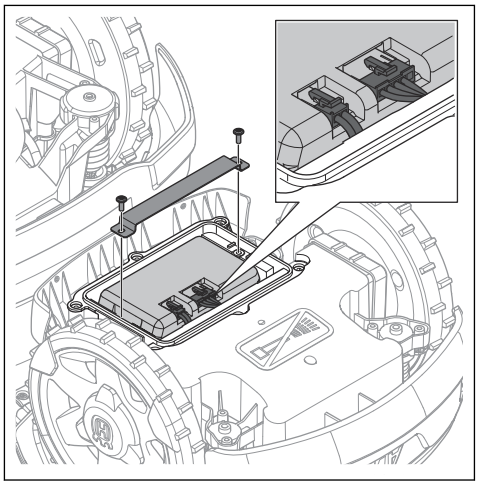
1. 本製品をオフにします。参照： *本製品をオフにする 28* ページ。
2. ブレードディスクを上にして、柔らかくきれいな面に本製品を置きます。



3. 6 本のネジとバッテリーカバーを取り外します。



4. 2 本のネジとブラケットを取り外します。



5. 2 本のケーブルをバッテリーから外し、バッテリーを取り外します。

9 主要諸元

9.1 主要諸元

寸法	Automower® 435X AWD
長さ（cm／インチ）	93/36.6
幅（cm／インチ）	55/21.6
高さ（cm／インチ）	29/11.4
質量、kg／ポンド	17.6/39

電気系統	Automower® 435X AWD
リチウムイオンバッテリー 18.0 V/8.0 Ah、品番	534 19 93-01
リチウムイオンバッテリー 18.0 V/8.4 Ah、品番	534 19 93-02
電源（28 V DC）、V AC	100/240
低電圧ケーブル長、m／フィート	10/33
最大使用時での平均エネルギー消費量	24 kWh／月（作業エリア 3500 m^2
充電電流、A DC	7
電源装置のタイプ [6]	FW7458/28/D/XX/Y、ADP-200MR XX
一般的な芝刈り時間（分）	145
一般的な充電時間（分）	45

境界ワイヤーアンテナ	Automower® 435X AWD
動作周波数帯、Hz	100/80000
最大磁界、dBuA/m[7]	82
最大無線周波電力 [8]、mW @60m	<25

音響データ [9]	Automower® 435X AWD
知覚騒音レベル、dB（A）	60
計測音響騒音レベル、dB（A）	60
保証音響騒音レベル、dB（A）	62
騒音放射の不確定性 KWA、dB (A)	2
使用者の耳における音圧騒音レベル [10]、dB（A）	49

[6] XX および YY は、市場分類のための英数字または空白文字です。技術的な差異はありません。
[7] EN 303 447 に基づいて測定。
[8] 無線装置が動作する周波数帯におけるアンテナへの最大有効出力電力です。
[9] 機械指令 2006/42/EC および規格 EN 50636-2-107 に基づいて決定。ただし、ISO 11094:1991 に従って測定される知覚騒音レベルを除く。
[10] 音圧騒音の不確実性 K_{pA}、2～4 dB（A）

芝刈り	Automower® 435X AWD
カッティングシステム	ピボット付きカッティングブレード（3 枚）
カッティングモーターの最大回転数、r/min	2475
芝刈り中の消費電力、W +/- 20 %	40
刈高、cm／インチ	3～7/1.2～2.8
刈幅、cm／インチ	22/8.7
最狭の通過可能経路、cm／インチ	60/24
作業エリアの最大斜度、%	70
ガイドの数	3
境界ワイヤーの最大斜度、%	50
境界ワイヤーの最大長、m／フィート	800/2600
最大長のガイドループ [11]、m／フィート	400/1300
作業能力、m^2／エーカー、+/- 20%	3500/0.9

IP コード	Automower® 435X AWD
ロボット芝刈機	IPX4
チャージステーション	IPX1
電源	IP44

対応周波数帯	
Bluetooth® 周波数帯	2400.0～2483.5 MHz
Automower® Connect 2G	GSM 850 MHz、E-GSM 900 MHz、DCS 1800 MHz、PCS 1900 MHz
Automower® Connect 3G	バンド 19（800 MHz）、バンド 5（850 MHz）、バンド 8（900 MHz）、バンド 2（1900 MHz）、バンド 1（2100 MHz）
Automower® Connect 4G	バンド 12（700 MHz）、バンド 17（700 MHz）、バンド 28（700 MHz）、バンド 13（700 MHz）、バンド 20（800 MHz）、バンド 26（850 MHz）、バンド 5（850 MHz）、バンド 19（850 MHz）、バンド 8（900 MHz）、バンド 4（1700 MHz）、バンド 3（1800 MHz）、バンド 2（1900 MHz）、バンド 25（1900 MHz）、バンド 1（2100 MHz）、バンド 39（1900 MHz）、バンド 18（850 MHz）、バンド 66（1700 MHz）、バンド 85（700 MHz）

[11] ガイドループとは、チャージワイヤーに適切に接続されたガイドワイヤーに連結した境界ワイヤーの一部とガイドワイヤーによって形成されるループです。

出力クラス		
Bluetooth® 出力電力	8 dBm	
Automower® Connect 2G	出力クラス 4（GSM/E-GSM）	33 dBm
	出力クラス 1（DCS/PCS）	30 dBm
	出力クラス E2（GSM/E-GSM）	27 dBm
	出力クラス E2（DCS/PCS）	26 dBm
Automower® Connect 3G	出力クラス 3	24 dBm
Automower® Connect 4G	出力クラス 3	23 dBm

この一般的な技術データからの偏差は、国別の章に記載されています。

ハスクバーナ AB は、リモコン、無線送信機、ヒアリングループ、地下の動物用電気柵など、他の無線システムと本製品の間の互換性を完全には保証していません。

本製品は英国またはチェコ共和国で製造されています。シリアルプレートの情報を参照してください。参照： *はじめに 6 ページ*。

9.2 登録商標

Bluetooth® マークとロゴは、*Bluetooth SIG, inc.* が所有する登録商標です。当該マークの使用について、Husqvarna は、ライセンスの許諾を受けています。

10 日本市場に適用可能

10.1 コンプライアンス要件

日本では、4G バンド 3、8、26、28 の携帯電話通信のみが適合します。

Bluetooth® モジュールはシャーシ上部の HMI ボード（PCBA）にあります。これは認定されたサービス技術者のみがアクセスできます。

このロボット芝刈機に搭載された内部モジュールは次の法律に基づいて日本国内での使用が認められています：電波法 本機は、日本の電波法に適合しています。本機は改造できません。改造した場合、適合証明が無効になります。

215-JUK026

D 22-0001 215

202-SMG024

AUTOMOWER® はハスクバーナABが所有する商標です。
著作権© 2023 HUSQVARNA。無断複写·転載を禁じます。

www.husqvarna.com

取扱説明書原本

1143601-79

2023-11-07